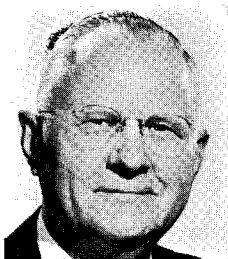


聖徒の道 1970 8







# 心の糧

十二使徒評議員

デルバート L. スティブレー

つねに偉大な教師の生活を表わし、新しい教師の手引きとなる三つの要点を挙げるように求められた時、ある賢人は答えた。「第一、模範によって教えなさい。第二、模範によって教えなさい。第三、模範によって教えなさい。」

救い主、イエス・キリストは世に知られる最大の模範である。キリストの教えはいつの時代にも耐える、それはキリストの教訓がご自身の生活の模範によって強調されているからである。私はもし真理と正義が、現在の道徳と霊性の衰退する時代に普及するならば、我々個人の生活の中に、福音の原則と標準と理想に一致したキリストのような模範がもっと見られるにちがいないと、心から確信している。我々は霊をしっかりとつなぎとめてくれる係留を離れて、ただ人生の墮落へ導く悪の道を行きがちで落ちることはできない。

この世は、道徳的にも霊的にも立派な人々、すなわち、神の戒めを固く守り、真理と正義の模範を示し、しっかりと立つ人々をさらに必要としている。

模範の力は人々が福音を実践する時にその強さを発揮する。なぜなら、福音を実践する人々は、イエス・キリストの輝かしい福音の光を、他人を徳の道へと導くかがり火のように、彼らの顔から放射するからである。

## — も く じ —

予言者のことば

わが教会はかくのごとく称えらるべし

……大管長 ジョセフ・フィールディング・スミス… 201

伝えることば……………ドウェイン J. サイクス博士… 203

執事による心からの助け……………ドロシー O. リー… 204

我々の新しい大管長 ジョセフ・フィールディング・スミス

……………ブルース R. マッコンキー… 206

予言者の妻 ジェシー・エバンズ・スミス

……………編集副主幹 エリーナー・ノウルズ… 208

神の力と賜とにより……………エルドン L. ハーグ… 211

権能によるバプテスマ……………マルコム S. ジェップセン… 213

新しい執事へ……………スティーブ・バレット… 215

現在は今ここにもの……………トーマス・リー・モンソン… 216

管理監督のページ

成 功……………ジョン H. バンデンバーグ 218

わたしに従いなさい……………ロバート A. ベアード… 220

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽い……………アリス C. スミス… 222

まぼろしの家族……………ジョアン B. ドキシー… 224

ローカル・ニュース…………… 226

知る人がふたりいる……………リチャード L. エバンズ…裏表紙

## 子 供 の ペ ー ジ

ぼくは知っている……………ルシル C. リーディング…26

早かった誕生日……………デロレス・ランド・デイ…28

絵 アーノルド・フリバーク

## 今月の表紙

1820年春、アメリカ合衆国西部ニューヨーク州において、若き少年ジョセフ・スミスは静かな森の中でひざまづき、「どの教会が正しいか」と神に祈り求めた。今月の表紙に描かれたケン・ライリー画伯の美しい絵は、世界各地の教会訪問者センターで用いられており、訪問者センター内では地上に福音が回復されたことに関する説明がなされている。



# わが教会は

## かくのごとく称えらるべし

大 管 長

ジョセフ・フィールディング・スミス

この時満ちたる神権時代に末日聖徒イエス・キリスト教会が組織されてから、この4月6日をもって140周年になる。

教会員がなぜ聖徒と呼ばれるのかと人々はよくたずねる。末日聖徒はその名前が意味するそのものでなければならない。彼らは罪から解放され、その生活は福音の原則にぴったりと調和していなければならない。彼らは「神の口から出るすべてのことばによって」生きるよう戒められている。(マタイ4:4, 申命8:3)

しかしながら、聖徒という称号を受け入れることにおいて、彼らは尊大であったり、うぬぼれたり、独善的ではない。彼らがその名前を選んだのではなく、神の戒めにより与えられたのである。「わが教会は、末の世に於いて須らく末日聖徒イエス・キリスト教会と称えらるべし」と言われたのは主である。会員達がこ

の称号の意味を正しく心にとめるために、次の勧告が続いている。「誠にわれ汝らすべてに告ぐ、汝ら起ちて己が光を輝かせ。これ汝らの光よろずの国民のはたじるしとならんためなり。」(教義と聖約115:4—5)

この称号を受け入れる時、末日聖徒は昔の神の民の中に広くいきわたっていた慣習に従っているのである。ペテロとパウロの時代の教会員は聖徒と呼ばれた。「ペテロは方々をめぐり歩いたが、ルダに住む聖徒たちのところへも下って行った。」(使徒9:32) パウロはこう書いた。「ローマにいる、神に愛され、聖徒と呼ばれる方々へ。わたしたちの父なる神および主イエス・キリストから恵みと平安とが、あなたがたにあるように。」(欽定訳ローマ1:7)

今日の教会員が昔の慣習に従っていることはもはや明らかである。なぜなら、この末の世に戒めにより、

イエス・キリストの教会員は「聖徒」と呼ばれているからである。

ご存知のように、私は長年の間、140年間にわたる教会の歴史を記録する仕事に携わってきた。この教会の質素な始まりに関する記録を読みかえすことは、胸がときめく思いである。末日聖徒イエス・キリスト教会は、アメリカ合衆国、ニューヨーク州セネカ郡フェイヤットにあるピーター・ホイットマー・シニアの家において、1830年4月6日、ジョセフ・スミス、オリバー・カウドリ、ハイラム・スミス、ピーター・ホイットマー・ジュニア、サムエル H. スミス、デビッド・ホイットマーの6名をもって組織された。これらの6名はすでにバプテスマを受けていたが、その日再びバプテスマを受けた。

予言者ジョセフ・スミスは次のように書いている。「天父への厳肅なる祈りをもって集会を始め、我々は前もって与えられた戒めに従って会を進めた。兄弟たちの名を呼び、我々を神の王国の教えを伝える教師として受け入れるか否か、また我々が受けた戒めに従って教会を組織し進めていくことに同意するか否かを確かめた。これらいくつかの提議は満場一致で可決された。それから、私はオリバー・カウドリの頭に手をおき、「末日聖徒イエス・キリスト教会」の長老に聖任し、今度は彼が私を同教会の長老の職に聖任した。我々はパンを祝して彼らと共に食べ、ぶどう酒を祝して彼らと共に飲んだ。その後、我々は聖霊の賜物を授け、キリストの教会員に確認するために、一人一人の頭に手をおいた。聖霊が我々の上に豊かに注がれ、ある者は予言をし、また我々は非常に喜んでみな主を讃美した。」(教会歴史記録 第一巻 P.77-78 英文)

その日、予言者に教会の記録を保持せよとの啓示が与えられた。またこの啓示によって、ジョセフ・スミス・ジュニアが聖見者、翻訳者、予言者、イエス・キリストの使徒、教会の長老と称えられることが知らされた。(教義と聖約21章)

教会の最初の大会は、2カ月後の1830年6月9日、フェイヤットにおいて開かれた。当時の役員は、ジョセフ・スミス・ジュニア、オリバー・カウドリ、デビッド・ホイットマー、ピーター・ホイットマー、ザイバ・ピーターソンであり、それぞれ、教会の長老の職を有していた。この大会において、サムエル H. スミスが長老に聖任され、ジョセフ・スミス・シニア、ハイラム・スミス、マーテン・ハリスが祭司に、

ハイラム・ページとクリスチャン・ホイットマーが教師にそれぞれ聖任された。この大会終了時に、教会にはジョセフ・スミスとオリバー・カウドリを含めて、7人の長老、3人の祭司、2人の教師がおり、会員総数27名を数えた。

オリバー・カウドリは1830年9月26日開かれた次の大会まで、教会の記録と大会の集会記録を保持するように任命を受けた。それには会員が62名にふえたことが記録されている。

デビッド・ホイットマーは1831年1月2日、セネカで開かれた第3回目の大会まで、教会の記録を保持するよう任命された。

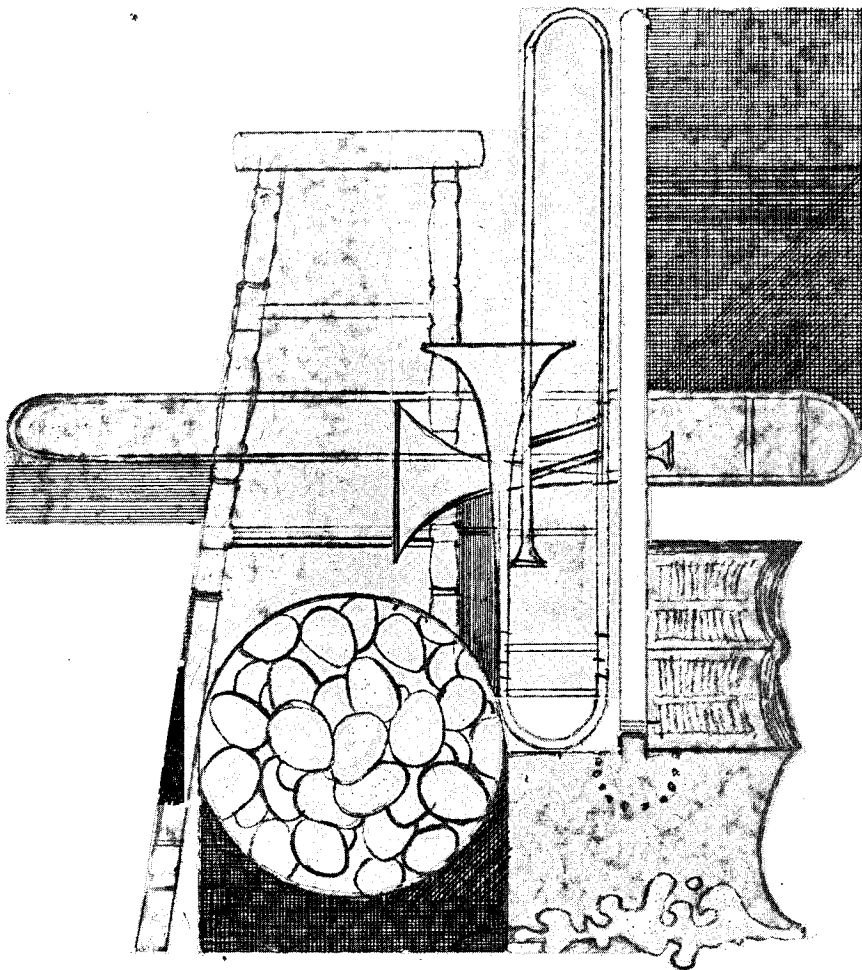
その後教会はオハイオ州、カートランドに移り、そこで1831年6月に大会を開いた。その大会で、この神権時代最初の大祭司が聖任され、またすでに監督に召されていたエドワード・パートリッジは副監督としてジョン・コリルとアイザック・モーレーを選んだ。これら3人の兄弟達は教会の最初の監督会を構成したのである。

1832年1月25日、オハイオ州アムハストにて開かれた大会で予言者が支持され、大神権の管理会長に聖任された。1833年3月18日には、大管長ジョセフ・スミス、副管長シドニー・リグドン、フレデリック G. ウィリアムスにより教会の大管長会が組織された。

1833年12月18日、ジョセフ・スミス・シニアが大祝福師に召され聖任された。1835年2月、シオンのキャンプより帰ってから、カートランドにおいて、この神権時代初の使徒と七十人が聖任された。使徒は啓示により選ばれ、1835年2月14日、モルモン経の三人の見証者により聖任された。また最初の七十人は2週間後に聖任された。

教会はその初期の時代から、会員一人一人がこうむった数々の試練と困難にもめげず、その力において急速に発展してきたのである。この教会が救い主、イエス・キリストの指示と指導のもとになすべき神聖な使命をもっていること、また教会につける主の計画をとどめるものは何一つないということを、私は全世界の教会員に申しあげたい。教会は天父のご計画を成就するであろう。世界中の聖徒達が、主の教会員であることと我々の喜びのために福音を回復してくれた予言者ジョセフ・スミスの使命のために主に感謝されんことを私は望む次第である。





## 伝えることば

ドウェイン J. サイクス博士

何年か前の二月のある晩のことでしたが、バック兄弟は私を迎えに来てくれました。私は当時14才で当時ワード・ティーチングと呼ばれていたホーム・ティーチングのジュニアの同僚に召されていました。

私達が最初に立ち寄ったのはウィークスさんの家であるのに驚きました。私は何年も学校の行き帰りに通っていたのですが、ウィークスさんか奥さんがモルモンだったとは知りませんでした。教会では見かけたこともありませんでした。私達はポーチを通り抜け、家の横を通って、裏玄関のドアをノックしました。

「今日は、ウィークスさん、ワード・ティーチャーとして訪問しました。ちょっとおじゃましてもよろしいですか。」

私達は食堂に通され、椅子に座りました。それからというもの、私達は訪問のたびに食堂に座るようになりました。ウィークスさんは高い木の腰掛けに座り、奥さんは長椅子から卵の入ったカゴを床におろして、座りました。その長椅子にはいつも卵の入ったカゴがおいてありました。

最初の訪問の時、バック兄弟は最近の卵の値段について尋ね、それから私達は15分間ばかり卵や鶏について話し

合うと、退去しました。ウィークス家を訪問する時はいつも卵の話でした。ある時は卵の値段について、ある時は茶色の卵の方が白よりもたくさん生まれることについて聞きました。またある時は鶏について、鶏小屋の修繕、鶏の羽の抜け変わる時について聞きました。ウィークス夫妻は私達の訪問を喜んでいるようでした。バック兄弟はお祈りをしようと言ったことは一度もありませんでした。実のところ、訪問した時に「ワード・ティーチャー」ですと言う以外、教会のことには触れませんでした。

私はバック兄弟にこう言ったことがあります。「私達はいつも卵のことばかり話していますね。あなたは校長先生ですが、それにしてもよく卵のことを知っていますね。そんなに興味があるんですか。」

「いや、それほどじゃないけど、ウィークスさんは興味を持っているでしょう。」とバック兄弟はにこやかに答えました。

次に訪問したのは、クラーク家でした。クラーク兄弟は高等評議員でした。バック兄弟は座るやいなや、今月のメッセージを2分間にまとめて話し、クラーク兄弟と二人でレッスンについて聖典と教義を交互に引用して話し始めました。二人は決闘でもするかのように山上の垂訓に始まり、教義と聖約、教会の歴史、黙示録、先週の神権会のレッスンに及んで、また山上の垂訓の話にかえりました。私は腕組みをしたまま、聖句のやりとりをしている二人を見くらべ、まるでテニスの試合でも見ているように頭を右に左に動かしていました。30分ほど話し合うとバック兄弟は最後に来月のレッスンの予告をし、お祈りをして帰りました。クラーク家を訪問する時はいつもこのようでした。

次に年老いたデイビス婦人のお宅を訪問しました。デイビス家は木造の家屋でペンキもはげており、木々がうっ

そうと繁っていました。バック兄弟は黙って車のトランクを開けるとシャベルを取り出しました。私は不可解な顔をしてバック兄弟の後について行きました。バック兄弟はシャベルで雪をかきながら歩道を作って行きました。雪が降ってからずいぶん日がたっていましたが、一つ二つ足跡のついているのがわかりました。窓の古いレースのカーテンの陰にちらっと動く人影が見えました。けげんそうにこちらを見ていました。

バック兄弟はドアを強くノックしました。応えはありませんでした。もう一度ノックしました。ゆっくりとドアがあいて、すき間から小柄で髪の色が白くなった老婦人が眼だけをのぞかせました。

「デイビス姉妹、新しい同僚を紹介します。サイクス兄弟です。ラマーの息子です。」とバック兄弟は大声で言いました。

デイビス姉妹はわずかに口を動かしたただけでした。私は引き戸を引いて半開きにし、手を伸ばして握手しましたが、デイビス姉妹の手には力がこもっていませんでした。

バック兄弟はもう後を向いて、シャベルから雪を取りながら歩いていました。そしてこう言いました。「来月また会いましょう。それから、デイビス姉妹、こんなに雪を放っておいてはいけませんよ。私達に電話してくれればすぐに雪かきしてあげますからね。」

車の中で私は、「これもワード・ティーチングの訪問ですか」と尋ねました。

「もちろん、デイビス姉妹にとってあれが唯一の教会や外部分との接触なんだよ。私が訪問し始めて数ヶ月間はドアにいてもくれなくてねえ。まだ家の中へ入れてもらったこともな

いんだよ。しかし、ふきげんそうな顔のシワの間を注意して見ると、私達の訪問でわずかに赤みがさしているのがわかるよ。もし私達が毎月訪問してドアのすきまからでもあいさつしなかったら、きつとがっかりするだろうね。」

私達はデイビス姉妹をがっかりさせはしませんでした。

その晩、最後の訪問は、ジョンソン家でした。毎週日曜学校で会っていましたが、バック兄弟は、二人の子供の健康について、ジョンソン兄弟の仕事の状態についてききました。新しく同僚になった私も加えて、全員で今月のメッセージについて話し合いました。お祈りが終ると、私達は子供達の飼っているネズミを見に地下室へ行きました。

その後の訪問で、ジョンソン兄弟は高校時代にトロンボーンを吹いていたことがわかりました。バック兄弟もかつては楽団でトロンボーン奏者をしていたことがあるので、ある日不意にトロンボーンをさげて訪問しました。ジョンソン兄弟も長い間使っていないトロンボーンをひっぱり出してきて、二人は共演し、楽しい時間を過ごしました。

その数年間、私はメッセージを持ち、その伝え方をわきまえた教師の同僚になることができました。バック兄弟のメッセージはだれにでもあてはまるものです。「私達は心配しています。あなたが私達を受け入れてくだされば、できるだけのことをさせていただきたいと思います。どうしてですって？ 私達にとって、あなたが大切だからです。ですから心配するのです。」

\* ユタ州、プレザント・グローブで育ったドウェイン J. サイクス博士は現在アラスカ大学土地開発学部長を務め、フェアバンクス・ワード部監督会に入っている。

## すべての監督がより頼むもの 執事による心からの助け

ドロシー O. リー

私は、我が家に生まれてきた弟の顔を妹たちと共にのぞき込んでいました。私の家では、男の子よりも女の子の方が多いため、弟の生まれたことがほんとうにうれしかったのです。

「弟を甘やかしてしまうのではないかと思ったらしく、妹がこう言いました。「男の子でたった一つ困ることは、私たちが女の子が結婚してしまった後、お母さんのお手伝いをあまりしないんじゃないかということね。」

お父さんが笑いながら言いました。「しかし、彼は神様の家で大きな働きをすると思うよ。」

その時は父が何を言おうとしているのかわかりませんでした。しかし、弟が12才の誕生日を迎えた時、私たちにはその意味がわかりました。家族そろって日曜学校に出かけ、弟は聖餐のパスをしますのです。聖餐のパンと水をいただき、天父との約束を新たにする時、私たちの心は感謝で一杯になりました。私たちは、昔父が言ったように、弟が「神様の家を助ける者」になったことを知りました。

末日聖徒の少年が12才になると、すばらしいことが起こります。MIAに参加したり、ボーイスカウトに入団することができます。中でも一番すばらしいことは、よく準備してい



る少年は執事の職に聖任されることです。執事になると、聖餐のパスをし、断食献金を集め、また監督会のメッセンジャーを務め、必要な奉仕をすることによって主の御業を助けます。神権のさらに高い職を受ける準備の段階にあるのです。

幼ない子供たちは、執事が主の御業を進めている姿をじっと見えています。そして、自分たちも同じように人の役に立てることを知るのでした。私が、薪を片づけていた時もそうでした。重い松の木をけん命になって集めていると、隣りの小さな男の子デール・ポーブが道路を走ってやって来ました。

「この木はあなたには重すぎますよ。手伝いませう。」う彼はそう言いました。

デールは執事のすることを見ていて、人を助けることを知っていたに違いありません。デールも今では執事となり、執事定員会の書記をしています。彼はこう言っています。「ぼくが執事としてやって行けるのは、自分の証を持っているからだと思います。人が真実だと言うのを聞いているだけでは充分とは言えません。自分で学ばなければならないのです。

執事たちの会で、ぼくたちは指導者と、あるいはお互いによく話し合います。そこで、なぜだろうという問題になりました。イエスが当時の賢人たちに質問したのもわずかに12才の時でした。だから私たちも、現代の賢人と共にいる時には、同じように話したり質問したりしたいと思うのだという結論になりました。

ジョセフ・スミスが神に真理を知りたいと尋ね求めた時もぼくたちとそう変わらない年頃でした。彼が信仰深かったおかげで、現在のように、少年たちが主の御業を助けることのできる教会があるのです。」

デールの友達で、ネッド・ブッシュネルという少年も執事です。彼の意見はこうです。

「ぼくは神権を持てることをうれしく思います。父からバプテスマを受けた時、また父によって執事に聖任された時には胸が熱くなりました。12才になって、監督の面接を受けた時もそうでした。監督は、信仰と祈り、そして什分の一と人を助けることについてよく知っています。家族の他に、自分がよいことをするか悪いことをするか心を配っている人がいることを知るようになるのです。

人を助ける時、ぼくたちの人生もすばらしいものとなります。人の役に立つことによって、個人的な報いを受けることができます。ぼくたちのステーク部は果樹園を持っています。監督から頼まれると、ぼくたちは果樹園に行き、果物を拾い集めたり、ネズミの害から守るために根のまわりを掘ったりします。はしごに登ったり、バケツやかごを持って、皆で助け合うというのはすばらしい経験です。ぼくたちはワード部やステーク部を助けることができます。果物を必要としている人々の助けをします。」

執事定員会の会長をしているブラッド・オークレイは私に話してくれました。「ぼくたちは、教会員でない人々を助けることもできます。それほど前ではありませんが、教会



の近所に住んでいる家をまわったことがあります。彼らに、私たちが末日聖徒イエス・キリスト教会の執事で、ボーイスカウトの隊員であると告げてから、お手伝いを申し出ました。お使いをしたり、芝を刈ったり、いろいろなことをしました。人々は驚いたり喜んだりしていました。今では、私たちは皆友達になりました。」

あるワード部の執事定員会の少年たちは、おもしろい責任を持っています。その町は丘が多く、家は丘の上に立っていました。ワード部に所属する5軒の家族も丘の上に家を構えていて、あるクリスマスに特別に飾りつけをしました。教会員も教会員でない人も、きれいな飾りつけを見たり、扶助協会で用意したケーキやお菓子、贈り物を買うことができるのです。この5軒の家族を訪問しようと、何台もの車が狭い道路を登って行きました。車が着くと、執事たちが案内係になって安全に駐車させるのです。人々に気持ちよく過ごしてもらうため、説明や指示を与えながら案内をしました。「今晚のことは忘れられないでしょう。」私たちが帰る時ある執事はそう言っていました。

この執事たちは、ワード部内で病気のために日曜学校や聖餐会に出席できない人々のことも決して忘れません。彼らのために、月に一度特別な奉仕をします。執事と祭司が一人ずつ会員の家庭を訪問して、聖餐をパスするのです。これによって、その会員は誓約を新たにすることができま

す。ブラッドの父でワード部の監督をしているクラロン・オークレイは、こう言っています。「すべての監督は執事たちがする心からの助けを頼りにしています。将来は宣教師とも指導者ともなろうとしている、これらすばらしい少年たちの努力があるからこそ教会は成り立っているのです。」

# 我々の新しい大管長

## ジョセフ・



七十人最高評議員

ブルース R. マッコンキー

主の摂理において、指導者は時の要求に応じ教会の行く末を導くためにたてられる。

イスラエルにおいて管理する者はすべて、その時代に必要なとされる特別の適性と才能を持っていた。

そしてジョセフ・フィールディング・スミス大管長が予言者の道を歩むよう召された時も、過去の例にならった。彼の声は今や、罪悪がはびこる世界において試しと騒乱の時に主がその民に与えたもう言葉を語り、おとずれを運ぶ。

霊の力の巨大な柱、堂々たる指導者、比類なき指導力を持つ予言者であるデビッド O. マッケイ大管長は、伝道事業を拡大し、神殿を数多く建て、教会の組織を調整して完全なものとし、国の内外に教会の名をとどろかせた。

愛の使徒、柔和と寛大の人であったジョージ・アルバート・スミス大管長は、教会に愛をみなぎらせ、平安と一致の精神を吹き込み、将来の進歩と発展の基礎を築いた。

そして、ジョセフ・スミスにさかのぼり、神は自らジョセフ・スミスを指してこう言われた。「そは彼の言は、汝ら全き忍耐と信仰とを以て、あたかもわが口より聞くが如くにこれを受け入るべきなればなり。」(教義と聖約21:5) また、こうも言明しておられる。「されど今の代の人々には、汝によりてわが言を与うべし。」(教義と聖約5:10)

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はどうであろうか。主はなぜ彼を教会の大管長に選んだもうたのだろうか。このもの静かな93才の老齢者になぜ王国の巨大な重荷を肩におきたもうたのだろうか。神の代弁者という使命を帯び主の方法により、主の定められた時に選ばれた教会幹部の兄弟達に主はなぜ彼を頭として置かれたのだろうか。

我々は始めに終りを見ることはできない。また、主がその民および世に備えたもうあらゆるものを知ることはできない。あらゆるものに主の御手を感じ、主はどのように人を抜いたもうかを理解できる人々にとって、いくつかの事柄は、はっきりしている。

我々の新しい大管長は、教義の第一人者であり、神学者で

# フィールディング・スミス

あり、聖典に通じた人であり、本当の意味での義の説教者である。60年間スミス大管長は、ステーキ部、伝道部、国内外にあって、聖徒と世の人々に警告の声を発してきた。

古代の予言者の精神と態度をもって、何百万という説明、訓戒、解釈の言葉が彼のペンから生れた。「完成への道」ほど教義に関して広く研究されている書籍はなく、「教会歴史粹」ほど広く読まれている教会の歴史に関する論文はない。

信仰厚き聖徒にとって、スミス大管長の声はこの世と来たるべき永遠の生命の世界における栄光、誉、平安の声である。

悲しみに打ちひしがれた者にとって、それは慰めと安らぎの声であり希望の声であり、主を思い起こし、主の贖いを喜び、より良い世界、罪と悲しみのない世界を待ち望む声となる。

迷える羊にとって、それは群へ呼び戻し、良き羊飼いの守りを求めさせ、疑いの砂漠から舞い戻らせ、再び緑の牧草を得させる叫びである。

あらゆる宗派、団体において真理を求める者にとり、それは主を求め、キリストのもとに来て、福音を受け入れ、聖徒らと共に喜びと救いを見出す願いである。

罪深い者にとって、それは、ちょうどニーファイのように「悔改めよ、汝ら亡ぼされざらんがために罪を捨てよ。」との声である。

力強く宣べ伝え、知恵を持って教え、靈感にあふれて記す我々の大管長は、もちろん標準聖典の研究者である。朝早くから夜遅くまで彼は予言者の言葉を考え、主のみこころを書き、話した予言者達の持っていたと同じみたまを求めている。特に注意すべき点は、スミス大管長の研究と教えは、基本的で大切な聖典にのっとった教義に限られているという事実である。彼にとって奥義をほじくることには関心がない。

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長の生活は、学問と教え一辺倒かというところではない。勤勉と福音の律法に従う生活により、研究の成果と福音の博識を勝ち得たのである。スミス大管長が空腹の者を満たし、裸の者に衣服を着

せ、宣教師の資金を援助し、病んでる者をいやしたことはあまり知られていない。

代々の大管長が実施した方針をすべて、我々が危険の多い将来に生きる上で必要だとして、教会で支持すべきだろうか。

時の移り変りは、強調点の変更、指導法の変更を要求する。現在教会は進歩と発展の道を歩んでいる。もちろんこれは続くであろう。しかし、現在はさらにスミス大管長の証と教義の声を加えられるべきなのである。

現在教会が必要としているものは、教義を新たにする時、世と分けられている真理を再確認する時といった間違いだろうか。

現在必要な指導を与えるべき権能を持つ新しい大管長の指示により、我々は福音の研究と霊の向上に関して安息の時に入っているのだろうか。

世の弱きものが力を得、主ご自身が弱きものの腰に帯を与え、主のために雄々しく戦わせたもうという約束の成就を我々は再び見るのであろうか。

そして、回復された真理をあがめ、啓示された言葉をよく考え、聖徒となるよう生活し、あらゆる所に住む天父の子らに救いのメッセージを携えて行くよう、我々は現在求められているのだろうか。

主が大管長会を再び組織された目的の一部は明らかのように思える。主の完全な意図と計画が何であれ、我々が絶対的な確信を持って知っていることがある。

我々は主の業に携わっている。これは主の王国であり、主は業を高らかにし遂げたもう。

教会は進歩を続け、改宗者はふえ、聖徒の生活はさらに良くなり、主は再臨の時に約束された聖徒らとお会いになりたもう。

これらすべてとさらに多くのことは、主がイスラエルを管理させるべく選ばれた時の間、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長の指示のもとに行なわれる。





「妻が夫に対して親切にし、支持し、不平を言わないならば、妻は幸福を味わい、夫も同じ思いをするでしょう。」

ジェシー・エバンズ・スミスの語った言葉は、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長との結婚生活そのものである。二人の生活は、愛、尊敬、共通の趣味をもつこと、互いのよき伴侶たる神と固く結びついている。ソルトレーク市に住んでいて、早起きの人々は二人の愛と互いの思いやりの姿を目にして心の暖まる情景をこう伝えて

いる。毎朝スミス大管長は教会本部から半丁ばかりの所にあるアパートを出て、交通量の多いステート街を横断する。一方、スミス姉妹はアパートのバルコニーに立ち、大管長が無事に渡り姉妹に向って手を振るのを見届けるのである。

「私は大管長ほど親切で思慮深い人を知りません」とスミス姉妹は語る。

1月23日を境にスミス大管長と姉妹の生活はさらに忙しくなり、さらに大きな責任を担うこととなった。その日教会の第十代大管長に任命されたので

ある。しかし、スミス姉妹は、生活が一変するとは思わなかった。スミス大管長は晩に事務所を退出すると、質素ながらも落ち着いた家庭に帰る。そこは世界中を旅した数々の記録、家族の写真、絵画、書籍のつまった本棚、器用なスミス姉妹の作った手芸品などで埋まっている。だれもが「くつろげる家庭」とすぐに感じられる家庭である。

姉妹の記憶によれば、「生まれてこのかた」ジェシー・エバンズとジョセフ・フィールディング・スミスはずっとお互いを知っていた。「私達は同じ



# 予言者の妻

ジェシー・エバンズ・

スミス

編集副主幹

エリーナー・ノウルズ

ワード部で生まれました。そして、私がまだ小さかった頃、夫は私達家族の『ブロック・ティーチャー』でした。」

二人の友情が愛に変わったのは、それからずっと後、ジェシー・エバンズがプロの歌手になり、ジョセフ・フィールディングが使徒として、各地を旅したその後のことであった。

ジェシーが初めて人前で歌ったのは6才の時のことだった。彼女は宗教クラス（現在のインスティテュートにあたる）に招かれ、「イエスさまのお話を読むとき」（子等は歌う）を歌っ

た。

「『エスさまのがわたしのあたまにおかれたら』という歌詞に来た時、私は感激して、泣き出してしまいました。」と思い出を語っている。それからというもの、ジェシーの兄は妹が教会で歌う時、「きっと泣き出すから」一緒に行くのは嫌だと言った。

その時父は、「いつか、ジェシーの歌うのをお金を払って聞きに行くことになるよ。」と言った。

次からはもう泣かなかった。しかし、今日彼女が歌う時に見られる、豊かな

感情の表現、暖かさ、確信がみなぎっていたに違いない。（スミス姉妹が思ひ出を語ってくれたところによると、彼女の兄はお金を払って妹の歌を聞くことになったそうである。ジェシーがアメリカ軽歌劇団と共演していた時、兄は旅行の途中立ち寄った。ところが彼女は余分な入場券を持っておらず、そのため兄は入場券を買って妹の演奏を聞いたのである。）

エバンズ家は音楽一家で子供達は全員歌い、楽器を演奏した。五人の兄弟（六人目は幼い時に死亡）はそれぞれ

に、バイオリン、クラリネット、チェロ、フルート、ドラムを演奏し、一番若いジェシーはピアノを演奏した。

1918年、当時若くて魅力的な速記者だったジェシーは、タバナクル聖歌隊に加わり、それ以後半世紀以上にもわたって隊員として活躍している。1923年第29代合衆国大統領ウォーレン G. ハーディングの追悼記念式典がタバナクルで行なわれた。その時、スミス姉妹はスカウトに見出され、アメリカ軽歌劇団に加わるようになったのだった。

4年間、歌劇団と共に合衆国、カナダを母親の付添いを得て演奏旅行した間、ジェシーは、ボヘミヤの少女、チョコレート兵士、ミカド、ロビンフッド、その他多くの歌劇の主席アルトをつとめた。

しかし、ジェシーは各地の聴衆を前に歌っている間も、これを生涯の仕事としたいとは思っていなかった。ニューヨークのある有名な声楽家がメトロポリタンオペラの試験を受けるためもっと勉強するように勧めた時、ジェシーは、導きを求めて祈り、祝福師の祝福文を読み返した。そこにはこう記されていた。「汝の中に潜むあらゆる素質は、主への奉仕と教会に役立つべく用いられん。」その時ジェシーの心は決った。ソルトレーク市に戻り、主の業のために自分の才能を使うことにしたのだった。

この決意によりさらに大きな道が開けた。タバナクル聖歌隊に復帰すると、ソルトレーク市市民歌劇団にも加わり、教会のプログラムや葬式で数えきれぬ程の演奏を行なった。（「私は何度葬式で歌ったか記録をたどってみようと思いました。けれども二ヶ月たって、天で記録されていることに気づきやめました。」と語っている。一ヶ月に28回以上も演奏した記録が残っている。）

1930年代になると、ジェシー・エバンズは音楽だけでなく政治の面でもその名を知られるようになった。市記録官事務局に勤務していた時のこと、州

記録官選挙に立候補することを決意した。選挙は大接戦で、最初は当確とみられたが、結局10票差で落選した。やむなく、市の事務局に戻ったが、次の選挙で再び立候補し、当選した。

ジェシーがソルトレーク州記録官として働いている時、彼女の生活に、最近妻を亡くしたジョセフ・フィールディング・スミスが再び入り込み、ジェシーの人生を変えることとなった。

「教会歴史記録者の署名が必要な書類がありましたので、私は歴史事務局に電話して伺って良いか尋ねました。すると、スミス兄弟は、いや自分が私の事務所へ来ると言いました。」

その日の夕方、ジェシーが帰途、友人に会って話をしていると、その友人はこう言った。「今日、ジョセフ・フィールディング・スミスがあなたに会いに行つたでしょう。」

「ええ、でもどうして？」とジェシーは答えた。

「今日、彼が街を歩いているのを見かけました。そしてすれ違う時、彼があなたに会いに行つて、あなたに結婚を申し込むと強く感じたのです。」

それから数ヶ月してジョセフ・フィールディング・スミスはジェシー・エバンズに結婚を申し込んだ。そして、若く才能豊かなこの職業婦人は人生の新しい次元を迎えることとなったのである。

当時、スミス大管長には11人の子供と長女の子供が二人（長女の夫はその時学業で家を離れていた）おり、全員一つの家に住んでいた。

ジェシーが働いている間、ジェシーの母親がスミス家の料理、家事をまかっていたが間もなくジェシー・エバンズ・スミスがダグラス通りにあるスミス家を切盛りするようになった。

手製のパンはスミス大管長の好物である。彼は毎週木曜日の晩にパンと牛乳それにチーズの夕食をとるのが習慣である。

「夫は肉をとりません。私達は果物や野菜をたくさんいただきます。夫がホテルユタで昼食や夕食をとる時、給

仕の人は必ずフルーツサラダとコテージチーズかシャーベットを持って来ます。」とスミス姉妹は言う。

スミス姉妹はスミス大管長と共に世界中を旅行し、よく話や歌を頼まれる。多くの場合、スミス大管長夫妻はデュエットで歌い、オーストラリア、南アメリカ、ヨーロッパ、ニューヨーク、トロント、ロサンゼルス等、教会の支部や伝道部、ワード部やステーク部の聖徒達を魅了してきた。

スミス姉妹が話し手としても多才なことはよく知られており、若人と共に度々証を分ち合い、若人に対し活発な教会員であるよう、神殿結婚の準備をするよう励ましを与えている。

スミス姉妹の母親はスミス姉妹が家に連れて来る若い男性達にどれほど関心を寄せていたかの逸話がある。「母の気に入らない男性を連れて来ると、もう来て欲しくないと私に言ったものでした。『でもお母さん、私は彼と結婚するつもりはないのよ。』と答えたものでした。すると母は、『たぶんしないかも知れないわね。でもお前が言えないなら、私が言います。』と言ったものでした。」

ジェシー・エバンズ・スミスは母の忠告に従い、主に仕え主のみ心を行ないたいという望みに忠実であったため大いなる祝福がもたらされた。スミス姉妹は献身的な伴侶としてまた協力者として夫と共に各地を旅した。

すばらしい才能を分ち合うことにより、隣人に対する奉仕の生活を豊かにすごしている。また家庭と家族に喜びと幸福を感じている。このスミス姉妹に対して、数々の榮譽と表彰が与えられている。

「幸福とはしたいことをするのではなく、したくないことをして、自分の行為に喜びを感じることである。」これはジェシー・エバンズ・スミスのモットーである。彼女の人生は喜びと物事をよくした達成感に対する証である。それは主のみ心に従い、それを喜びとする者にのみ、生まれるものである。

金版に刻まれた偉大なニーファイ人の言葉を  
翻訳してモルモン経を世に出した。

ジョセフ・スミスは

## 神の力と

## 賜とにより

エルドン L. ハーグ



古代パレスチナの陶器師はその技を誇りとしていた。でき上がった製品が目こえた主婦たちによく売れるよう、職人はまず粘土を注意深く選び、望みの堅さになるまでこねあげたのである。それから適当な量の粘土を取り、心軸で連結した2枚の平円盤の上の方に置いて、下の円盤を足でくるくる回しながら手で円錐形に形造っていった。円錐形になった粘土の内側に親指を入れてさらに回し、容器の形を造るのである。時としてもろい粗末な器ができたり、あるいは質のよい器ができたりする。造っている途中でやめて、元の粘土の固まりにしてやり直すこともあった。でき上がった製品が満足のいく物であると、それを外に出して風に当て、やがて焼いて固めたのである。

予言者エレミヤは、主に導かれてエルサレムの陶器師の家へ行き、そこで彼の仕事ぶりを見ているうちにろくろと粘土から一つの教訓を得た。主は言われた。「陶器師の手に粘土

があるように、あなたがたはわたしの手のうちにある。」(エレミヤ18:6) ユダは、陶器師にきらわれるできそこないの粘土にたとえられた。陶器師とその手にある粘土が象徴するものは、少しも矛盾するところなく人にも適用できる。事実パウロはこのように問いかけているのである。「造られたものが造った者に向かって、『なぜ、わたしをこのように造ったのか』と言うことがあろうか。陶器を造る者は、同じ土くれから、一つを尊い器に、他を卑しい器に造りあげる権能がないのであろうか。」(ロマ9:20-21)

### 湿気を含んだ柔軟な粘土

粘土が湿気を含んで柔軟な時に、陶器師の腕は最高に発揮される。焼いて固めた器はほとんど形を変えることがなく、造り直そうとしてもなかなかこわれぬ。主がその僕として



立派な教育を受けた上品な人々ではなく、むしろ粗野で満足に学校にも行っていない若者を多く選んだことは驚くべきことである。(モーセ6:31, Iサムエル3:1-20, エレミヤ1:6-7参照) 予言者ジョセフ・スミスは自分のことを「高い山から落ちてくる巨大なごつごつした岩、何かにぶつかって行きながら削り取られ磨かれてゆく」と表現している。これらの粗野で教育を受けていない人々には共通して、教えを受け入れるという柔軟な資質があり、神という陶器師の手にかかる、すばらしい神の証人になるのである。

どの予言者もその時代にふさわしい特別な仕事に召されており、その仕事の性質によって召される人も決まってくるのは当然である。詩人イザヤは、ウジャの法廷で雄弁に語るために神から選ばれた。奴隷の状態にあった民を神の選民とするためには、重大な決定がなされていたパロの宮殿の内部から立ち上がるモーセが必要であった。

若いジョセフの前に出された最初の仕事は、モルモンにより刻まれた金版の翻訳であった。

## 翻訳の仕事

翻訳というと、私たちは主に文章の構文と言葉を駆使し、高度な技術を要する仕事と考える。翻訳は単に文法をうんぬんすることではなく、原文が伝える内容と精神をとらえなければならない。翻訳する言語が古い時代のものの時には、仕事はさらに複雑を極める。モルモン経の著者はこれらの困難に気づいていた。

「さて私たちは、私たちのいわゆる変体エジプト文字を学んだ知識でこの記録を作った。この文字は代々私たちの間に伝わってきて、私たちの言語が変わるにつれて変った……しかし、主は私たちが書き記したことを知れたもう。そればかりでなく、私たちのほかに私たちの言語に通じている者のないことを知れたもうから、この記録を解釈する方法と手段とをすでに備えておきたもうた。」(モルモン書9:32, 34)

こうして、だれ一人として知る者のない言語で書かれた記録の翻訳に取り組むという召しが、ジョセフに与えられた。ニーファイ人はエジプト文字を使っていたが、その書体は彼らだけに通じるものであった。このため、熟練した翻訳者や専門的なエジプト語学者が知恵と知識をふりしぼっても、この記録の翻訳には歯が立たないのである。

ジェレドの兄弟は、主の命令により「人々の読めぬ言葉も

て」記録を書いた。(イテル3:22) 主は深い意図をもってこの命令を与えられた。つまり、ジェレド人の言葉をいくら科学的に研究しても、この記録の翻訳はできないということである。主はこの御心により、モルモン経の翻訳を助けるため、言語学者が一度も使ったことのない2つの石による解釈器をジョセフ・スミスに与えられた。予言者は、これらの石がウリムとトミムを成すものであると説明している。

## 神の力と賜により

ジョン A. ウィットー長老はこう記している。

「しかしながら、それは逐語訳ではなかった。予言者には、その文字の意味するところがほとんど知らされたのである。彼はそれをできる限り適確な英語に書き表わした。」

ンドニー B. スペリー博士はこう続けている。

「その時、予言者はニーファイ人の言語を直観的に悟ることができ、前から親しんでいたような気持すらしていた。だからこそ手にした金版に書かれてあることが理解できたのである。それから彼は、自分に与えられた使命を果たすため、金版に記された内容を最良の英語に直した。」

ジョセフ・スミスは後年何ヶ国語かを学んだが、一度も語学の大家ぶったことはない。衆知のように、主は記録の翻訳をする人を選ぶ時に、語学の賜を求められなかったのである。予言者は、「神の力と賜とによってこの記録を翻訳した」と証している。ジョセフがニーファイ人の記した神の聖典を理解できたのは、すべて彼の神に対する信頼、心からの信仰、そして高められた霊性のゆえんである。そして「この世のもの」に対する執着からこの霊性を低めた時、彼は翻訳することができなかった。もう一度謙遜に祈って始めて、スペリー博士が言うところの「直観的に悟る」ことができたのである。

神は、モルモン経が正しいことと、ジョセフが神より召されて翻訳の業をなしたことを証明して天よりこう言われた。

「これらの金版は神の力によって世に示され、神の力によって翻訳された。あなたが目にしているこの記録は正しい。わたしはあなたに命じる。あなたが今、見聞きする記録を世に伝えよと。」

「われはイエス・キリストより権能を受け  
たれば、天父と御子と聖霊との御名に由り  
て、汝にバプテスマを施す、アーメン」

(教義と聖約20:73)



## 権能によるバプテスマ

マルコム S. ジェップセン

ジ  
ェーンは青い目を輝かせた金髪の少女でした。バプテスマを受けることに胸をワクワクさせながらも、8才の子が皆そうであるように、監督との面接が心配の様子でした。監督室に入ると、私たちはバプテスマの誓約の意義について話し合いました。それから私は、彼女がバプテスマの水をくぐる時に天父と交わす約束を挙げました。彼女は私の言葉にじっと耳を傾け、忠実であれば天父は彼女に偉大な約束を与えたもうことを知って、それらの約束を受け入れました。生まれて初めての大切な時を迎えることに興奮の色を見せていた彼女が、急に真剣な顔つきでこう尋ねました。「監督さん、だれが私にバプテスマを施してくれるのですか。」ジェーンの父親は、その年の初めに起こった飛行機墜落事故で亡くなっていたのです。

そこで私はこう答えました。「一番上のお兄さんのジムはどうですか。彼はアロン神権の祭司ですからね。」(ジムは立派な青年で、じきに伝道に出るところでした。)

「神権とは何か、またあなたにバプテスマを授ける人が神権を持っているということがどうしてそんなに大切なのか、わかりますか。」

ジェーンは神権という大切な言葉の意味がよくわかっていなかったのです。私は彼女に、ジョセフ・スミスの最初の見神を例にとって話しました。天より訪れた天父と御子がジョセフの前に現われ、どの教会にも加わってはならない、それは彼らが権能を持たないからであると言われたことについて話しました。それから、復活したバプテスマのヨハネが1829年5月15日にジョセフ・スミスとオリバー・カウドリの前に

現われ、バプテスマおよびその他の儀式を神の権能により執り行なうため、この時満ちたる神権時代に、地上の人間にこの権能を回復した時の様子を話して聞かせました。（教義と聖約13章、27：8 参照）

8才の子供たちの心は確かに天父の導きを受けるのでしよう。ジェーンには、すぐにこの話のもつ大切な意味がわかったのです。何世紀もの間、現在のようなキリストの御名によりバプテスマを施す権能がこの地上にはなかったことを理解したのです。私たちは教義と聖約を開いて、バプテスマのヨハネがジョセフ・スミスとオリバー・カウドリの頭に手を置いて言った言葉を読みました。

「汝ら、われと同じ業に働く僕らよ。救世主の御名によりて、われ汝らにアロンの神権を授く。こは天使の導きと恵み、悔改めの福音、罪を赦すために水に沈むるバプテスマなどの鍵を握る神権にして……」（教義と聖約13章）

私たちは、この偉大な出来事が起こる以前、すなわち霊的な暗黒時代に生きることがどんな状態かを話し合いました。面接を終えた時、ジェーンは、神権が自分のバプテスマに果たす役割に対して新しい厳粛な思いをもって去って行きました。

### バプテスマを施すに必要な神権

自分にバプテスマを施す人について心配して尋ねたジェーンの場合は、普通とは少し違っていました。今まで私が面接してきた少年少女の多くは、権能とバプテスマの問題についてあまり考えていなかったからです。準備というすばらしい機会が、両親や教師によって失われていることがあるのです。バプテスマを受ける準備をしている7～8才の子供たちは、日曜学校あるいは家庭において、自分の人生で神権の権能のもつ重要な意味を理解するちょうど良い時機にきています。次にあげる神権に関する3つの基本的な真理を理解する時なのです。

1. 神権とは、この地上において天父に代わって御業をなす権利、権能です。さらに、神権は天においても地においても存在する神の永遠の力であり、天父はこの力とそれを持つ人を、地上におけると同じように天においても神の御業をなし遂げるために使われるのです。
2. 神権の中にも、昇進と責任の重さに段階があります。

1～2年したら神権を受けられるように準備している少年は特に、それぞれの職に特有の仕事と義務があることを知らなければなりません。執事は聖餐のパスをし、断食献金を集め、また聖餐会のメッセンジャーをします。教師は聖餐の準備、案内人を務め、ホーム・ティーチングに参加するという神権の中で大切な働きをします。また執事の持つ責任をもすべて果たすわけです。聖餐を祝福する責任を持つ祭司は、伝道活動に活発に働き、バプテスマを施すことができます。もちろん執事や教師の責任も果たします。強調すべき点は、アロン神権はメルケゼデク神権に聖任される準備の段階であるということです。少年は、自分に与えられた責任と仕事を忠実に果たすことにより新しい責任を受けるのです。神権の職を全力を尽して遂行することは、幼児が座り、這い、歩き、走り、ついには競技に出るようになるまでの過程にたとえられます。

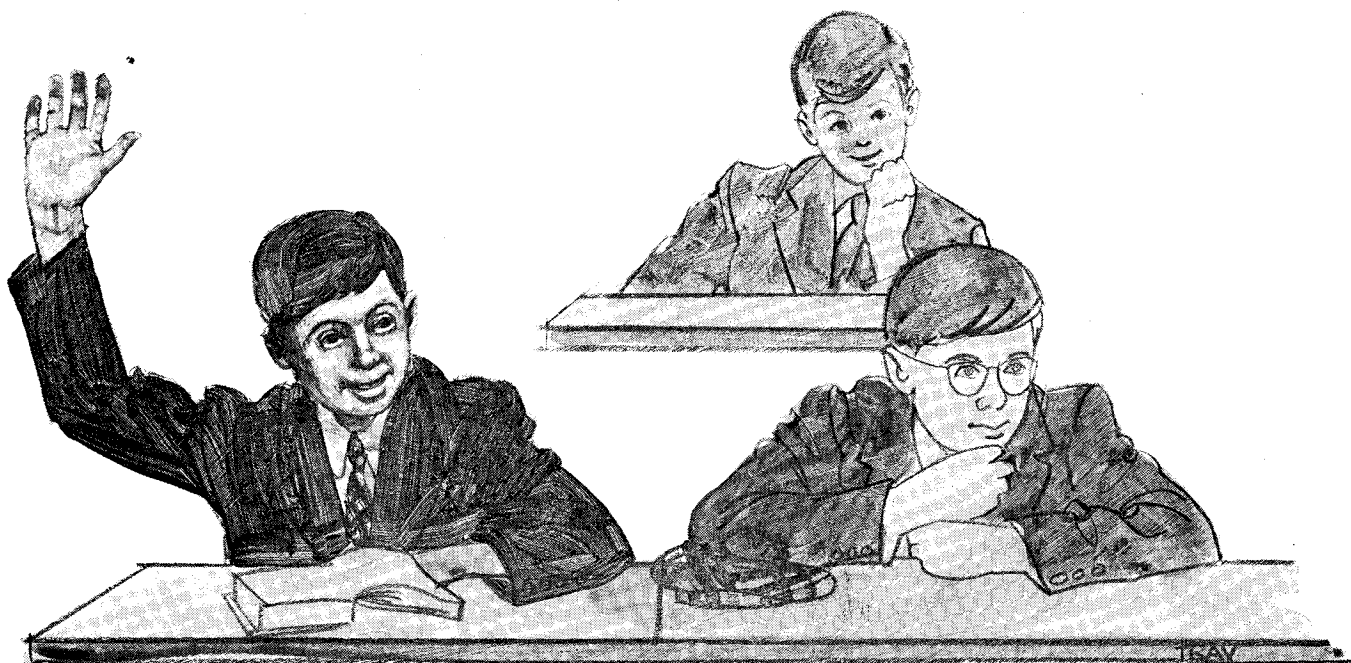
3. 神権は何世紀もの間この地に存在しませんでした。ですからこの神権が回復されたことは大きな祝福です。多くの少年たちを面接してみて、私が想像していた以上に、彼らが神権に関する霊的な意義を理解することを知りました。神権の恵みによりバプテスマは有効であり、神権者は父なる神の真の息子になろうとしていることを教えるべきだと思います。

私がバプテスマを受ける年頃になった時、年上のアロン神権者に対してあこがれのような気持を抱いたのをおぼえています。このあこがれは段々大きくなり、いつか自分も彼らのようになって神権を受け、神権を尊びたいという決心に変わってゆきました。子供たちは、神権の重要性という基本的なことと、バプテスマの儀式を通して、いかに神権が個人の生活と直接に結びついているかを教えられ天父のご計画に一致した人生の目標へ向かうようになるのです。

「幼な子らをわたしの所に来るままにしておきなさい。止めてはならない。神の国はこのような者の国である。」

（マルコ10：14）

※開業医をしているマルコム S. ジェップセン兄弟は、マウント・オリンパス（ユタ）ステーキ部、イースト・ミルクリーク第8ワード部の監督である。夫人との間に5人の子供がいる。



## ぼくは知っている

ルシル C. リーディングによるほんとうの話

教室の中は、何となくザワザワと落ち着きませんでした。一日はとても長く感じられ、少年たちは授業がなくて昼休みにやり始めたゲームがずっとできたらよかったのにと考えていました。冷たいスコットランドの午後は過ぎ、ほとんど毎日のように校庭をつつむ霧で今日も明るい中に遊ぶ時間がすくなくなっていました。

先生は、これから黒板に書く宿題の祈りの言葉を、早くノートに写したら、それだけ早く授業を終ることを約束してくれました。先生は大好きなその祈りの説明をし、「写したり暗記したりする時に一つ一つの言葉について良く考えて見て下さい。そうすると祈りはそれぞれ特別な意味をもつようになるのです。」と言いました。教室からは、先生が黒板に書くチョークの音と皆がノートに書く鉛筆の音が聞こえるだけでした。

主よ教えて下さい、受け入れ  
られる奉仕ができますように  
むくいを求めないで与え

傷をかえりみないで戦い  
休みを求めないで骨おって働き  
また、主のみこころを知る  
むくいだけを求めて働くことを  
アーメン

先生はチョークをおいて振り返り、たずねました。「みなさん、とても素晴らしい祈りだとは思いませんか？」そして続けて言いました。「これは人のために疲れも忘れて、お金をもらうことも考えないで喜んで働く人によって書かれたものにちがいありません。暗記する時、だれがこのように祈ることができるか考えてみてください。」

少年たちは急いで鉛筆とノートをしまい、そのほとんどがただ外に出てゲームを始めることだけを考えました。しかし皆はちょっと考えさせられました……それは一人の少年が手を上げて、静かにこう言ったからでした「ぼくにはわかります。お母さんならそれを書けたでしょう。」





AFRIBERG

# 早 か っ た 誕 生 日

デロレス ランド ディ

絵 アーノルド フリバーグ

ミッチの誕生日はめちゃめちゃになってしまいました。  
しょんぼりしたミッチは、室のあかりがまぶしくないように目を手でおおいじっと窓をすかして見ました。

それはまるで、滝の下に立っているようでした。雨ははげしく窓ガラスを打ち、うなりをあげて吹く風は、家をゆすぶりました。

この嵐の中を、牧場から子馬がたった一匹で、どこかに行ってしまったのです。それはミッチの責任でした。ミッチは一生けんめいに気を落ちつかせようとしてしました。

一年前ミッチが10才の時に家族でアリゾナの牧場に移ってきてから、いろんなことが起こりました。「ねえ、ぼくはやっぱり牧場主になれると思う？」とミッチはお父さんに聞きました。

ミッチは、果てしなく続いている荒野と夜のシーンとした暗やみにおそろしい気持がしながらも、決して口に出しては言いませんでした。言わなくても、お父さんはわかっているのだとミッチは思いました。

ミッチの一番いけないことは、忘れっぽいことでした。庭に水をまくこと、アヒルにえさをやること、自分が通ったあと門をしめること、みんな忘れてしまいました。皆が注意しても、ミッチはやはり忘れてしまうのです。

でも子馬が生まれると、すべてが変りました。ミッチはその小さな子馬をとてかわいがりました。その子馬のおかげで、ミッチは言われたことを忘れずにするようになり、もう何も心配する必要はありませんでした。それはお父さんが「もしおまえが子馬の世話をちゃんとできるところを見せたら、誕生日にその子馬をあげよう。」と言ったからでした。

ミッチは子馬に「ファンシー」という名前をつけました。そしていつも馬小屋に行っては、そこで仕事をしている人にいろんなことを聞きました。ミッチは少しずつおぼえていきました。そしておぼえたばかりの知識やうでをじまんして、お父さんに「ファンシーはもうぼくのものだね」とも言いました。

涙をこらえて、ミッチは窓から目をはなしました。ぼくはそんなに悪い子なんだろうか。今朝早く、ミッチとお父さんは馬小屋まで行ったのです。するとくろくろとした雲が山なみをすっぱりとおおい、雷が怒ったように鳴り始めました。お父さんは馬のくら帯をきつくしめながら、「なんてこっ

た。町からもどって来る時までは、嵐にならないでもらいたいね。」とぶつぶつ言いました。

ファンシーの母馬がお父さんを乗せて速くの方へ行ってしまうと、ファンシーは目をきょろきょろ動かして、悲しそうにいなきました。

いなくずまはのこぎりの歯のように、雲の間を走っています。風も家畜小屋にひゅうひゅう吹きつけて、ミッチの髪の毛はくしゃくしゃになってしまいました。小屋の戸が風でバタバタと音を立てるとファンシーは飛びはねました。

ミッチは手をさし出しましたが、ファンシーは驚いたように飛びのきました。「さわぐんじゃないよファンシー、ファンシーしずかにしなさい。」とミッチはなだめようとしてしました。りんごがあればファンシーは静かになるかもしれないと思って、ミッチは、そっと外へ出ると家まで走っていききました。

戻って来て、ミッチは立ち止まりました。おどろきのあまり言葉が出ませんでした。とびらが少し開いていて、ファンシーがいないのです！

「でも、どうして……？ だれが……？」ミッチのそばかすだらけの顔が青ざめてきました。とびらのかぎをしめ忘れていたのです。

嵐におそれをなし、母馬がいないので心細くなったファンシーは、どこかに飛び出して行ってしまったのです。町に向ったのでしょうか。それとも荒野をさまよっているのでしょうか。

どこをさがそうか迷っている間に大粒の雨が降り始め、体はびしょぬれになってしまいました。ミッチはこわくなって家にとんで帰りました。

雨はずっと降っています。ミッチはしょんぼりしてお父さんの帰りを待ちました。夕食の時、ずぶぬれで泥だらけのお父さんが帰って来て言いました。「帰る途中で嵐になってしまったんだ。一時は帰れないかと思ったよ」

お父さんは子馬がどこかに行ってしまったのを聞くと、がっかりしたようにミッチの方にふり向きこう言いました。

「おまえの気持はよくわかっているよ。ファンシーがいなくなってお父さんも残念だ。しかしこの嵐の中ではとても探せないよ。」

今、皆は台所で食事の最中です。ミッチは暗い荒野を見つ

めていました。いくら自分をなだめたって、やっぱりとてもこわいんだと思いました。こんな天気の時、とても探しに出る気持にはなれません。でもファンシーは嵐中で危険なのです。ミッチは責任のつらさがまんできなくなって、きつく腕組みました。もう、やるべきことは一つです。

雨がっぱのボタンをとめ、懐中電灯を手にして、ミッチはドアを開けました。もう何も考えず、ただ行っただけだと自分に言いかけせました。ドアを静かにしめてポーチをはなれました。

風で洋服はひきちぎれんばかりになり、雨は目の中にまで入ってきます。懐中電灯の光は暗やみをかすかにてらすだけでした。ファンシーのことはもちろん、運よく家畜小屋までたどりつけたらなあミッチーは思いました。

ミッチはファンシーの名前を呼んだり、口ぶえを吹きながら歩いて行きました。足が棒になるまで歩きました。いったい今どこにいるのかわからないため、だんだんこわくなってきました。もうどのぐらい来たのだろう。不意に、ミッチはぬかるみに足を取られてひざがよろけました。立とうとすると左の足首がズキンズキンと痛みました。たいへんだ。もうぼくはびっこになっちゃったとミッチはうめきました。懐中電灯はすべったひょうしにどこかに落してしまいました。

雨は滝のように降り、ミッチはいつ終るとも知れない暗やみに一人投げ出されました。頭がボーッとなって横にすべってしまいました。もう泥の中に座っちゃおうかと、ぼんやり考えていました。

しばらくして、ミッチは雨が小降りになったのに気づきました。あおむけになっていたのです。眠っていたのでしょうか。何かベトベトするものが、ミッチの手にさわりました。びっくりしてとびのくと、大きな鼻をミッチの首にこすりつけてきました。……ファンシーでしょうか。そうファンシーです！

ミッチは手を伸ばし、雨のしずくがしたたるファンシーの首に抱きつきました。「ファンシー……ああ、ファンシー……。」とミッチはむせび泣きました。ミッチの顔はぬれていました。それは雨のしずくではなく涙でぬれていたのです。

ファンシーがブルブルふるえていたので、どこか小屋でも見つけなければミッチは思いました。ファンシーのばさばさした黒いたてがみをつかんで、まっすぐに引き寄せ、足の痛さをこらえて二、三步びっこをひきながら歩きだしました。でも、それ以上は足が動きませんでした。

風が冷たくなってきました。寒気がしたり、体がほてったりしました。

胸が重苦しくなり、足はガタガタふるえました。お父さんが心配しているだろうと、ミッチは考えました。

「ぼくはあまり役に立たないんだね。」とファンシーに話しかけました。ずいぶん遠くまで来てしまったのでしょうか。

突然、人影がボーッと現われました。ミッチはハッと息を止めたんですが、すぐうれしそうにため息をつきました。お父

さんだったのです。お父さんにだかれながら、ミッチは目をつぶりました。気がついて目をあけると、ミッチは暖かいけれどかびくさい家畜小屋にいました。

お父さんは、「おまえはきっと、ぐるっと輪を回して歩いたにちがいない。家畜小屋はおまえのいた所と家の間にあるんだ。そうじゃなければ、光が見えただろう。」と言いました。

「でもどうやってファンシーはぼくを見つけたんだろう」とミッチは声をつまらせて言いました。

お父さんは、ミッチに毛皮をかけると、震えているファンシーの方に行きました。

「ファンシーは家畜小屋と囲いの外をさまよっていたんだろう。きっとそうだ。」と言いました。それから、ファンシーのぬれたくらを毛布でこすって乾かしながらこう言いました。「今夜のことで、おまえをえらいと思っているよ。」

ミッチは心苦しうに言いました。「なぜ？ ぼくが見つけたんじゃないくて、ファンシーがぼくを見つけたんだ。」

お父さんは静かに言いました。「おまえが見つけたのは、しなければならないことをする勇気なんだよ。この嵐の中でファンシーはこれ以上は持たなかっただろう。」そしてミッチを見ながら言いました。「さあ、家に帰ろうミッチ君。子馬はもうだいじょぶだよ。」

二人は、家畜小屋のとびらの所で、もう一度ふり返ってファンシーを見ました。

ファンシーはつぶらな目をあげていなくなりました。お父さんはミッチにほほえみかけて言いました。「みてごらん。おまえはもうプレゼントを開けてしまったんだ。まだ誕生日じゃなかったのに。」



# 新しい執事へ

スティーブ・バレット

チャーリー・プロデリックはお父さんが大好きでした。なぜだかわからないけれど、好きでした。

たぶん一つの理由は、この一カ月間家族そろって聖餐会に出席すると、お父さんはいつも家族を執事の席のすぐうしろに、座らせるからでした。チャーリーは、次の週に執事になったら何をすればよいのか心配でしたが、お父さんにはそのことを話していませんでした。お父さんにはわかっているように思えたのです。

チャーリーは、プライマリーを卒業することがうれしくてしかたありませんでした。「ガイド・パトロール」も良かったのですが、今はもうボーイスカウトの「イーグル」を目標としていて、その一隊はミラー湖のそばで大きなキャンプをすることになっていました。年上の少年たちから、MIAやスカウト活動やそのほかいろいろな楽しいことを聞くと、時々女の子と踊らなくてはならないとしても、とても素晴らしいと思えました。

執事になることも胸がはずみましたが、少しこわくもありました。監督に教会の入口で呼び止められ、午後2時に監督室に来るように言われた時、彼は足がすくんでしまいました。

彼は監督に何を言ったら良いのでしょうか。いいえ、それよりも、監督に何を言われるのでしょうか。時間はどんどん過ぎていきます。もう一時半になっていました。彼は30分近くもワード部の入口の所で考え込んでいました。

チャーリーは行先をお母さんに話しませんでした。お母さんにも話ししたら、彼の身なりや彼が話すことについて、細かく言うだろうと思ったからでした。きっとお母さんからいろいろなことを聞かれて、どうして良いかわからなくなってしてしまうことでしょう。とにかく自分で何とかしなければならなかったことでした。自分のことは自分でした方が良い時があるものです。

彼は執事になる準備ができていたのでしょうか。監督室の前に立つと、中から話し声が聞こえてきました。チャーリーがプライマリーにいたころのことを、ストーン姉妹は何と言っているのでしょうか。権能、バプテスマのヨハネ、按手礼。学校中のだれよりも大きな力を持っているというのはほんとうでしょうか。それは、あばれんぼうのサミーをやっつけることができるということでしょうか。

彼はほんとうにふさわしいのでしょうか。初めてタバコをすすめられた時は、簡単に断わることができました。くだらないことだとわかっていたからです。でも、そう簡単にはいかないこともありました。

自分の言ったことはそんなに大切なのでしょうか。今彼は誓いということに悩まされていました。ほんとうに天使はすべてのことを記録しているのでしょうか。ここ数日のことをお父さんやお母さんに知れたら、ひどく困ることでしょう。彼は、誓いをこんな風に感じるということは、きっと悪いことに違いないと思いました。時々彼は、自分はクラスの中で

たった一人の末日聖徒だし、学校全体でも七人のうちの一人なんだから大変なんだと言ひわけをしていました。ほかの少年たちは、彼が皆と同じような言葉使いをしないと、いくじなしだと言うにちがいないと思ったからです。でもこの言いわけはほんとうに正しいでしょうか。

チャーリーが監督室に入ると、監督は彼にはほえみかけました。彼が考えていたほどむずかしそうなことではありませんでした。最初の質問は簡単でした。「あなたは執事になりたいと思いますか。」彼はもちろんなりたいたと思いました。だれでもそうではないのでしょうか。だんだんと質問がむずかしくなっていました。でも、彼はどれにも正直に答えました。やがて最後の質問になりました。「あなたは良くない言葉や、下品な言葉を使っていませんか。」答える代りに、彼は自分の靴を見つめました。彼は何と言ったら良いのでしょうか。彼は何を言えるのでしょうか。監督は答えを待っています。

どっちにしても、あとで監督が彼とお父さんを一緒に呼んだ時話すのに比べたら、今話す方が簡単でした。監督と彼はお互いにわかり合えたようです。面接が終った時彼はとても楽な気持ちになりました。「君という人間はたった一人なのだ。しかもそれが君なんだよ。」監督はこうアドバイスしました。次の面接までの一週間は、それほどビクビクしませんでした。監督とお父さんの顔をまっすぐに見て、心から誓いますと言えた時は、とてもうれしくなりました。チャーリーは執事になるのです。監督がそう言いました。

聖餐会の時、監督は彼を壇上に立たせて、チャーリー・プロデリックは執事となるにふさわしいと思われる、とワード部の全会員に言いました。少しこわい気持ちもしましたが、心に暖かなものを感じて、ふさわしくなろうと思いました。彼の頭に手がおかれ、彼をアロン神権に聖任するお父さんの声が聞こえました。彼は今何を期待されているのでしょうか。お父さんは何と言ったのでしょうか。「正直でありなさい……困った時聖霊があなたを助けて下さるように……」

聖餐台を前に、うしろに組んだチャーリーの手は汗でぬれていました。彼は、パスをする時つまずかないようにと願っていました。お母さんもそのことを注意しました。執事がつまずくのを見たことはありませんが、自分が最初にそうなるかも知れません。歩くたびに新しい靴がキュッキュッと音をたてるのではないかと心配でした。

チャーリーは、棒のようにかたくなって聖餐をパスしました。最後の列が一番むずかしいと思いました。うれしそうにしている弟や妹にニコリともしないでパスをし、最後にお父さんからトレイを受け取って、ホッとためいきをついて戻ろうとした時、彼は良くやったというばかりに自分の腕をつかむお父さんの大きな手を感じました。見るとお父さんは、彼だけにわかるようにウィンクをしていました。

チャーリーはほんとうにお父さんが大好きでした。そしてとても幸せでした。

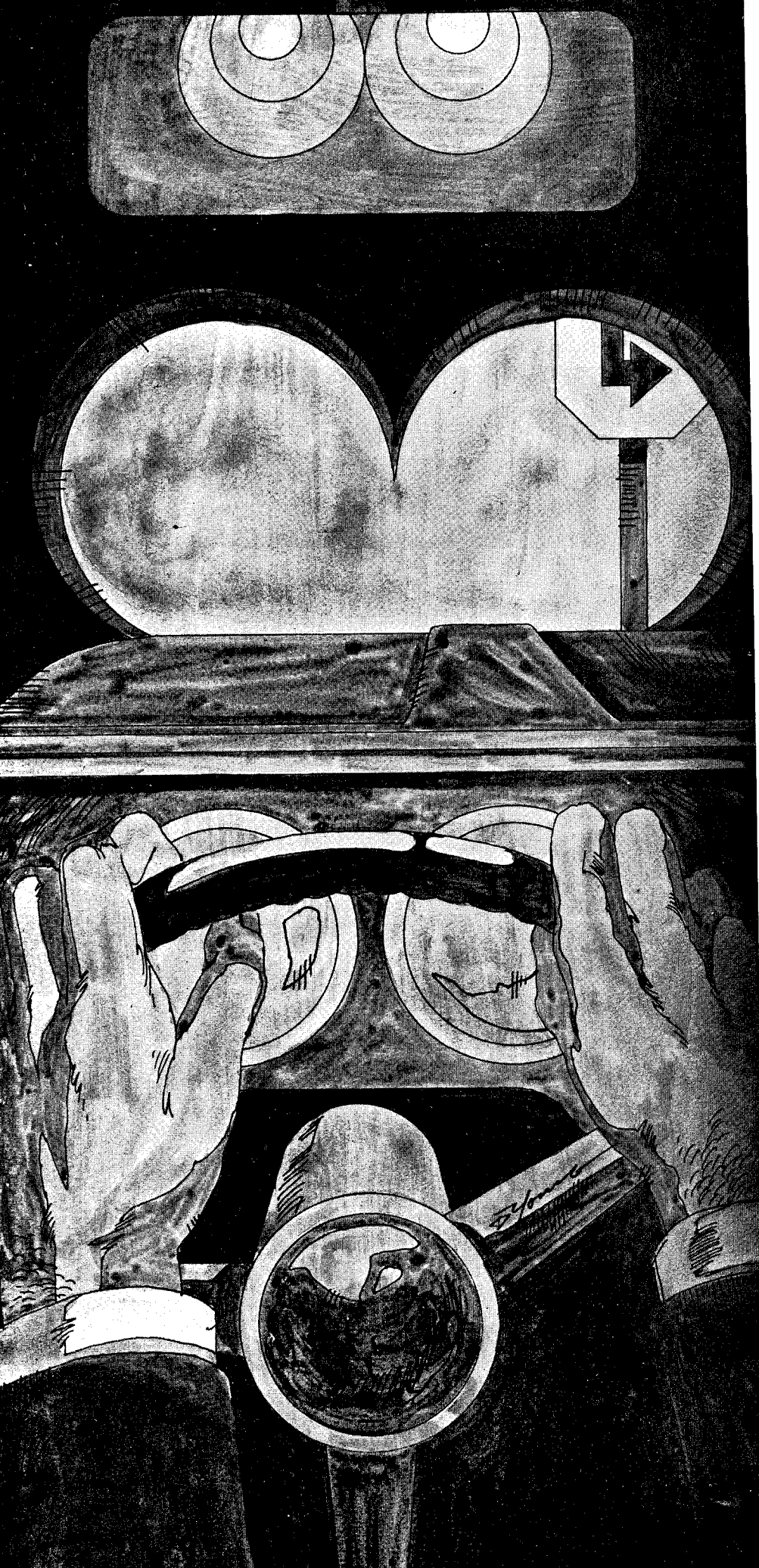


# 現在

このことを悟るのに遅すぎた人として、シェークスピアの作品の中のカーディナル・トーマスウルジーという、長い人生を三人の陛下に忠実に仕え、富と権力を得てきた人物があげられる。最後になって彼は気短かな支配者に見捨てられ、その心の痛手をこう訴えている。「おれが陛下に仕えたせめて半分の熱意で神に仕えていたら、こんな年になって、素っ裸で敵の中に放り出されることはなかっただろう。」(シェークスピア「ヘンリー八世」3幕3場)

あらゆる教訓の中で最も素晴らしいものは、救い主から得られる教訓である。我々は仲間の一人が苦しんでいるのを見る時、なんとなくしばしば天父の慈悲に疑いを抱くことだろうか。我々は苦痛の道を通らずに神の王国に入ろうとするのである。世の救い主は、非常に大きな苦痛、苦難を経てのちに天国へ入られたことを歴史は教えている。我々は僕として、主以上のことを望むべきではない。はりつけがなくて復活祭は行なわれないのである。過去は我々の後にあるもの、そこから学びなさい。

我々は人生のハイウエーを走る時、後に何があるかを知るためにバックミラーをのぞかなくてはならない。また我々の前に何がある





# は今ここにあるもの

トーマス リー モンソン

かを知ることと同様に大切である。未来は我々の前にあるもの、そのために備えをなさい。

他の人がどう思いどう言おうとも、そのような人にはおく病で確信のあまりない人が多いが、私はあえて言いたい。明日という日が素晴らしい日になるということ。明日という日はすべての人々の歴史の中で最も貴い、変化とチャレンジと限らない約束の待ち受ける特別な日となるということ。私は信じている。

我々はその日一日の問題だけに頭を悩ませてはいけな。明日の素晴らしい機会のために備えをなすべきである。我々は、神もかつては現在の我々のようであり、現在の神のごとく我々もなれるのであると教えられている\*。言い換えるなら、「人間が現在の神のようになれるとすれば、人間は現在、かつての神のようではなくてはならない」のではないだろうか。我々は神が生活されたと同じような生活することによって、自分を備えようではないか。打ち勝ち難い問題は、我々が打ち勝つことができないと思った時にはじめてそうなるのである。未来は我々の前にあるもの、そのために備えをなさい。

我々は過去の人生から学び、こ

れからの人生の備えをする。しかし、捜すことに熱中して人生を無駄に過ごしてはならない。現在は今ここにあるもの、その中で生きなさい。使徒パウロはこう書いている。「豊かにまく者は、豊かに刈り取る」(Ⅱコリント 9:6)

今日多くの人々は、今にも彼らを、のみこもうとしている誘惑という波に押されながら、チャンス(好機)という海上を漂流している。このような、勇気のない人々は、時と共に沿岸を押し流されているのである。しかし勇敢な兄弟たちは、そこから他の場所へ方向を変えようとする。

現在を有意義に生きるためには困難に対処することである。人生に問題はつきもので、我々がそうした問題に打ち負かされることのないように、大きなチャレンジが与えられるのである。我々はチャレンジにまっこうから取り組んでいかななくてはならない。我々は強風が吹いてくると、あまりにもしばしば避難所にかけこんでいく傾向がある。チャレンジに立ち向かい、それらを克服することによって我々は世間の良い評判を得るのである。しかし、良い評判だけではその人の性格の一部分しかわからない。サウロも、権力を求める欲のために墮落するまでは、有能な一

人のイスラエルの王であった。しかし最後に彼はイスラエル人に、サミュエルに、また主にさえも拒まれたのであった。サウロは名声は得ていたが、品性を欠いていた。名声はその人がなし遂げたことであり、品性はその人自身である。現在は今ここにあるもの、その中で生きなさい。

我々の今歩んでいる道は、ぼんやりした過去から続いている道である。我々は、現在が、また将来に対する約束が、過去の上に成り立っているものであるために過去のことを学ぼうとするのである。

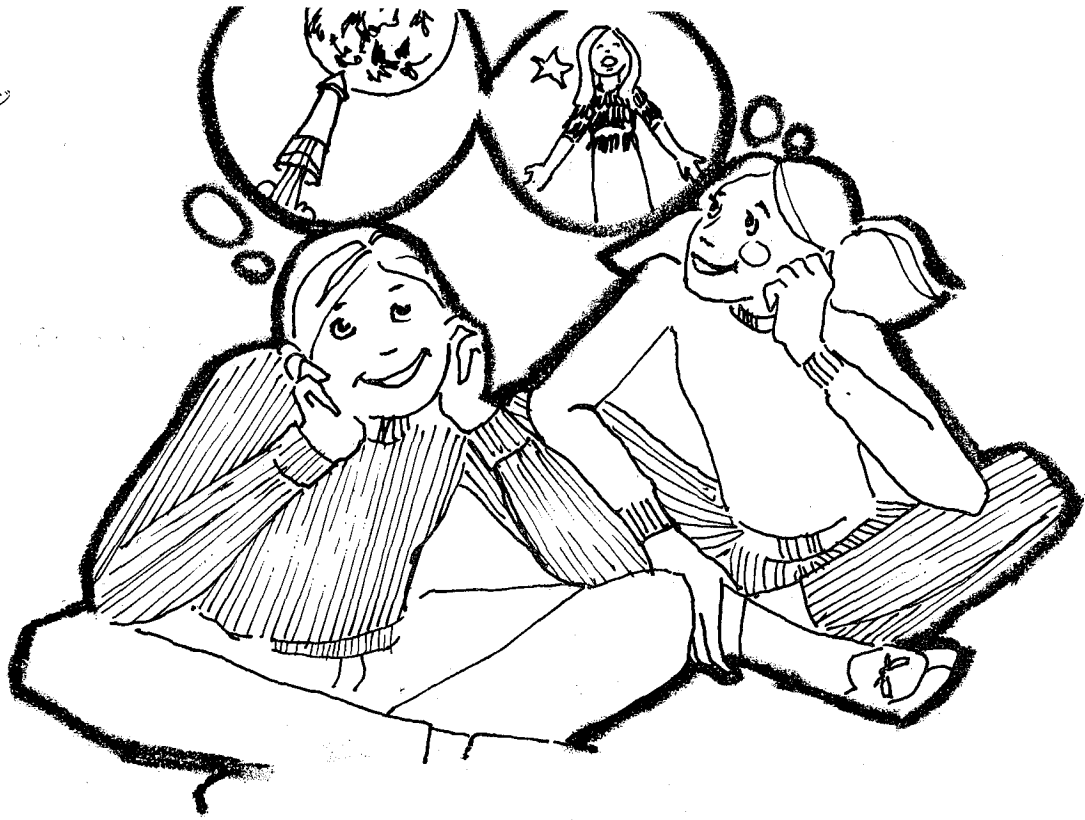
人生のハイウエーの混雑が激しくなると、人々はそのまっすぐで細い道から遠回りしていくようになる。主の道には時々、その目的地から離れていく道が交差している。しかし賢明な人々は安全標識に従うのである。次のことを常に心に留めておきたいものである。

過去は我々の後にあるもの、そこから学びなさい。

未来は我々の前にあるもの、そのために備えをなさい。

現在は今ここにあるもの、その中で生きなさい。

\* 「ロレンゾ・スノーの伝記と家族の記録」 P. 46



# 成 功

管理監督 ジョン H. バンデンバーグ

我々を絶望のどん底におとし入れるものと最も幸福な状態へと導く二つの言葉がある。それは失敗と成功である。人は、人生における失敗者という烙印を押されるのをまぬがれるために、できることはなんでもやろうとする。そのためには自分の全時間、才能、手段を惜しまず提供する。彼らは、大切だと考える計画や事業において成功をおさめるために、身や心までも捧げるのである。そこにしばしば人生の悲劇が起きる。

成功とは、必ずしも我々がやってのけたいと思うことをなし遂げることでなく、我々がなさねばならないことをなし遂げることである。我々の社会には、働きたいとも思わず、なんの努力もしない若者がいる。彼らは社会から逃避し無責任な非生産的な人間となって、丁度野原を風の吹くままに散らされる植物のようにあてのない生活を送っているのである。そしてそのような生活をすればするほど、彼らはますます有意義な人生を送っていると感じるのである。しかし、だれでもそこで

立ち止まって考えてみるなら、それが間違っていることに気づくだろう。昔から言われている二つの格言は、我々にそれが確かに間違いであることを教えてくれる。

「易きを追い求める者は弱くなる」

「易き生活を求める者は、まずその苦しさを味わえ」

トレーニングをして筋肉を鍛え、コンディションをととのえない運動選手は決して勝つことができない。そのような人はただ敗北感と不名誉、みじめさを味わうだけである。我々が日々の仕事をなすために払う努力、働きは、成功と幸福の基盤となる。人生を最上のものに近づく道はない。商業、専門業、工業を問わず分別ある社会では、年と共に多くなっていくいろいろな活動面であって、怠惰にふけり、最善を尽そうとしない若者を必要とはしない。人生の最悪たることは、失敗しないこと、すなわち成功を試みないことである。言葉を変えて言うなら、明るさも暗さも知らない、または勝利も敗北も知らないぼんやりした薄暗がりの

中で生活することである。

この世に生まれて来た目的を達成している人々と、人間としての使命を果たせずにいる人々との相違は、人生における失敗、辛苦、困難が彼らにとって重荷になっているか、進歩へつながる道の道しるべになっているかによるのである。我々は困難を克服することによって、またそれらを我々の心に徳性と強さを与えてくれる、人格形成上の一経験として生かすことによって強くなる。

予言者ジョセフ・スミスは教会を設立するまで、非常に多くの試練を経た。それゆえ設立された教会は滅されることがない強固なものであった。ジョセフと同僚数人がミズーリー州リバティーの牢獄に捕われて何ヶ月もたったのち、ジョセフは忍耐の限度を越えたと悟った。しかし、彼自身も聖徒たちもどうすることもできなかったのである。そこでジョセフは、聖徒や指導者たちのために、次のような言葉で主に嘆願した。

「おお神よ、汝は何所に在したもう

や。神の隠家を蔽える大幕何所にありや。汝の御手はいつまで止まり、汝の眼すなわち汝の聖き眼はいつまで永遠の天より汝の民と汝の僕らの被害を眺め、汝の耳はいつまで彼らのつんざく叫びを聞いたもうや。」(教義と聖約121:1~2)

ジョセフはさらに続けて自分の民のために主の助けを願っている。当時の歴史を読んだことのある人ならだれでも、彼の嘆願が、信じがたいほどに残酷な暴徒たちの支配や虐待からまぬがれるためのものであったことがわかるであろう。

しかし、主は、我々の人生における試練は、我々が永遠の幸福を得るための準備として必要であることをご存知であった。主が指摘しておられるように、成功はしばしば失敗と思われるすぐあとに続いて来ることがある。

「わが子よ、汝心安かれ。汝の不幸汝の困苦はただこれ束の間なり。然り而して、もし汝よくこれを耐え忍ばば、神は汝を高きに挙げたまわん。かくして、汝あらゆる敵に勝つことを得ん。」(教義と聖約121:7~8)

すべての人々を祝福する実り多い有意義な人生、その人生に横たわる岩だ

らけの道は、なめらかで歩きやすい怠惰へと続く道よりもはるかによいものである。

帆船はおだやかな海上では進むことができない。風がなければ帆は、マストに力なくなれば下がっているだけである。

アフリカにある非常に大きな金山の話が伝えられている。そこは次のようにして有名になった。「その鉱山を開いた男が、60メートルほどの深さのたて坑を掘ったが金は見つからなかったがっかりしたその男は『ついてない』と言って掘るのをやめてしまった。彼と親しかった隣人が、彼をホワイト・フェザー(弱音を吐く者)と呼んだことから、鉱山はその名で知られるようになった。彼はその鉱山を50ドル(1万8千円)で他の探鉱者に売った。その新しい所有者は1日がかりで30センチほど掘り、金脈におつかって、大金持ちになったのである。」

サタンが好んで使う手段の一つに、人を失望させる方法がある。我々に「弱音を吐かせよう」とするのである。働かないことの口実、人生において最善を尽さないための口実は容易にできる。しかし、最上の喜びを味わい、

この上ない成功を勝ち得る人は、「弱音を吐く」余地のないことを知っている。彼らは、真の成功とはたやすいことをして成功することではなく、たとえ一時的な失敗を何度かくり返すことがあっても、困難な仕事や計画にすべてを打ちこむことであると知っているのである。

アメリカの偉大な発明家トーマス・エジソンは、一つの問題を解くのに、何度も何度も失敗をくり返して、失望しないかという質問を受けた。彼の答えはこうであった。「いや、私は失望はしていない。間違った考え方はみな捨てられてしまうかもしれないが、それは次の段階へ進む踏み台となるのだから。」サミュエル・スマイルズ\*は言っている。「我々は成功することよりも失敗することによって多くのことを学ぶ。我々はやりたくないことを知ってやりたいことがなんであるかわかる場合がしばしばある。このように、一度も失敗したことのない人は一度も発見したことがないのである」と。

\*サミュエル・スマイルズ スコットランドの作家(1812~1904)

## 聖餐の聖句伴奏曲



## 8月聖餐の聖句

### 大人日曜学校

だれでも、水と霊とから生れなければ、神の国にはいることはできない。(ヨハネ 3:5)

### 子供日曜学校

私は主が命じたもうたことを行って行う。

(I ニーフエイ 3:7)

教師よ、生徒たちにこう言えるような生活をなさい。

# わたしに従いなさい

ロバート A. ベアード



教師の間でよくこういう質問を耳にします。「私が心から生徒たちを思っていることを示すには、どうしたらよいのだろうか。」答えは簡単です。「関心を示しなさい。」しかし、これを実行するのはむずかしいことです。

次の場面を考えて下さい。

まず最初に、道に迷い、うつろな心で歩いている人が、ふらふらしながらも一生けんめいに家路に着こうとしているところを想像して下さい。教師あるいは友人らしき人がこう彼に教えます。「教会へ行き、バプテスマのところを右に曲りなさい。それから日の栄の王国に向かって13歩進み、4つの儀式を通過しなさい。あるいは6つあるかもしれません。途中ですべての人を愛することを忘れないで下さい。話はまだ残っていますから、静かにしてよく聞いて下さい。家へ帰る途中でかならず神殿を通して下さいね。そして特に道で会うすべての正しい人に従って下さい。そうすれば、いつの日か家にたどりついて、平和と安らぎを得ることでしょう。」

## 関心を「示す」

上の話をよきサマリア人（ルカ10：33—36）の話と比較して下さい。言葉を少し変えてみるとこうなります。「あるサマリア人が彼を見て気の毒に思い、近寄ってきてその傷にオリブ油とぶどう酒とを注いでほうたいをしてやり、自分の家畜に寄せ、宿屋に連れて行って介抱した。翌日、別れ際にサマリア人はお金を取り出して宿屋の主人に手渡し、『この人を見てやって下さい。費用がよけいにかかったら、帰りがけに、わたしが支払います』と言った。」

このたとえ話に出てくるサマリア人の取った態度に注目して下さい。彼は傷ついた人の世話をし、必要なお金を払い、なすべきことをすべてしました。恐らく、この傷ついた人は回復して家へ帰れたことでしょう。自分にできることをすべてした後も、サマリア人はさらに助けを与える必要を感じて、用事を終えて再び戻って来た後の援助まで申し出たので



す。

以上2つの例から、どちらが本当に関心を持っていたかは一目瞭然です。私たちが実際に教える場合に当てはめて、どれだけ関心を示しているかという問題を考えると、責任を痛感せざるを得ないと思います。

生徒や子供たち、友人たちと次のようなことをしているでしょうか。

一緒になって解答を出し合いますか。あるいは、互いの話を聞き、話し合い、答えを探しながら一緒になって解決していますか。

自分の生活態度によって、自分でも満足のゆく模範を示していますか。それとも、人生を楽しくするもの、熱心に学ぶ態度、私たちににとって大切なものへの情熱を示していますか。

偽善的な印象を与えていませんか。信念、寛大で柔和な心、そして真実の愛をもって生活するため、忍耐と努力を尽していますか。その努力は人目にわかるものですか。自分も深いあわれみの心をもって、人の努力を知ろうとしていますか。

「さあ主に従おう」と言っていますか。彼らを誘って、共に主に従い、祈り、聖典を勉強し、与え合い、福音のすばらしさと喜びを知ろうとしていますか。

私たちに必要なのはこれです。  
怠惰な話を慎んで……しっかりと腕を組むこと。  
人を指さすのではなく……互いに高め合うこと。  
ただ方法を教えるのではなく……共に歩むこと。  
私のとおりにしなさい。

私たちはすべて、天父のもとへ帰りたいという強い望みを抱いています。事実、「みもとへ帰る方法を教えて下さい」と口に出して願っているのです。しかし、どんなに人のことを心配しても、自分自身を強めていなければ、人を強めることはできません。サマリヤ人が路上に倒れていた人を介抱している時に、泥棒が戻って来て彼を襲ったとします。泥棒の攻撃を払いのけてなんとかするだけの強さがなければ、傷ついて倒れている人を助けることもできないわけです。このように、人の生活を豊かにする力を養うには、まず自分の力と特質をよく知っていなければなりません。

私たちは一人一人違っています。それぞれの才能や力を持っています。しかし、レッスンの準備で、また人と接する時にすべての人が踏むべき段階があります。これにより、真の意味で神のみもとへ帰る道を教えることができるのです。

第1に、自分が信じていないことは教えないと自分にきびしく誓うこと。

第2に、人に教えることを自分の日常生活で実践すること。

第3に、救いへの道を話して聞かせるだけでなく、実際に生徒と共に歩み導くこと。

ここで、最初の場面に戻しましょう。教師は迷える人こう言うのです。

「私と一緒に生命の水のところへ行き、私のするように英気を養いましょう。家へ帰るまでにまだまだ歩かなければなりません、時間はあります。今日は私の家でお休みなさい。神殿のことを聞きたいのですか。力をつけて身も心も清くなったら、神殿に入ってすばらしい心暖まる経験ができます。一緒に行けますよ。まだあなたが一人で歩かなければならない道が続いています。でも私は天のお父様を知っていますし、途中にはお父様を知っている人がたくさんいます。いつもお父様の名前を持っていれば、お友だちがあなたの道を安全にして、安らぎを与えてくれます。さあ、私のコップでたっぷり飲みなさい。明日のためにゆっくり休息を取りましょう。」

### 自分の生活を清くする

主は御自身を、「人々の弱きを知り、誘惑に陥る者を救う方法を知る」者であると言われました。(教義と聖約62:1)そして、私たちの支配者として次の約束を与えられました。

「われこの事を言うは、汝ら真理を知りて暗黒を汝らの中より追い出さんためなり。およそ神より聖職に按手任命せられて遣わさるる者は、……すべてのものの所有者なり。そは天に於ても地に於ても、御父の御旨によりてその子イエス・キリストを通じて遣わさるる生命も光明も、『みたま』も能力も、すべてのものの彼の支配となればなり。されど、人は潔くせられてすべての罪より潔めらるるにあらざれば、すべてのものの所有者にあらず。」(教義と聖約50:25-28)

この約束により、私たちは主の模範に従って御力を受けるようになるのです。

たとえ救い主が私たちにみずから親しく道を示される望みがあかすかでも、主の約束と導きは確かです。私たちがその道を知って導かれる機会はあるのです。

教師として私たちに与えられているチャレンジは、自分の生活を清くすることです。その結果、イエスを通じて光明を受け、天の家へ帰る道を見つけて、人にそれを教えることができるのです。

ロバート・アラン・ベアード兄弟は、1963年ブリガム・ヤング大学で文学士号を受け、現在学生指導教官を務めている。また、以前にブラジルで宣教師をした経験を生かして、ブリガム・ヤング大学宣教師語学研修プログラムにおいてポルトガル語を教えている現在、BYU第3ステーク部、BYU第38ワード部で系図アドバイザーとホーム・ティーチャーの責任を持っている。

# 「わたしのくびきは負いやすく、



扶助協会中央管理会会員

アリス C. スミス

(1969年10月1日、扶助協会年次総大会における役員会席上での話)

すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである。

(マタイ11:28-30)

**何** 世紀にもわたって、救い主はこの暖かい御言葉を、地中海の東の岸辺から私たちに投げかけていらっしゃいます。

かわいたガリラヤの丘に登って、あるいはユダヤの汚ない道端で、イエスはあらゆる貧困や病気、苦難を目にされました。悔い改めをした罪人、しない罪人、また苦しんでいる人々がいることをお知りになりました。これらの経験と深い思慮が、あわれみ深い「わたしのもとにきなさい」という言葉を言わしめたのです。

1830年、予言者ジョセフ・スミスは、神を「変わることなき同じ神」と宣言しました。このことから、1843年7月28日に16人の扶助協会の姉妹が、「貧しい人、悩める人を探し出し、あらゆるものの貧困を救うために」召されたことは不思議ではありません。(アミー・ブラウン・ライマンによる「国家婦人の扶助協会の歴史」英文 P.29) 何百万という当時の世界にあってわずか16人です。しかし、始めなければなりません。1843年に16人だった人数が、現在では正に10万を越え、将来は20万にも200万にもなろうとしています。

数週間前、私は扶助協会ですっと活発に働いている素晴らしい友人に会いました。私は彼女が大好きなので、会えたことを非常にうれしく思いました。彼女の近況について知りたいと思い、現在教会で何の責任を受けているかと尋ねました。しばらく考えてから、彼女はこう言いました。「そうねえ、ただの家庭訪問教師なのよ。」

ただの家庭訪問教師だなんて！彼女と別れてから私はこう考えました。彼女が次の家庭訪問教師会に来て、救い主から次のように言われたらどう思うだろうか。「あなたに私の使いをしてもらいたいと思います。あなたが担当する地域の女性たちに、私が彼女たちを愛し、彼女たちとその家族の生活に心を留めていることを話していただきたいのです。私の助け手として、これらの姉妹をよく見守り、すべて私の王国に入れるよう心を配って下さい。」

家庭訪問教師会の後で会っていたとしたら、彼女の答えは違ったものになっていたと思います。彼女は、あたかも救い主とまみえるようにして、主の神権を通して召されたのではないのでしょうか。私たちの訪問教師は、この責任をつまらな

い仕事と感じていますか。あるいは、救い主から与えられたすばらしい霊的な祝福であり特権であると考えていますか。

訪問教師には、助けを必要としている人々を探し出すという大きな責任が与えられています。さらに、他の人がまた神様が姉妹たちに関心を持っていることを、訪問を通して知らせるのです。

訪問教師は、担当する地域でだれとでも最良の友人にならなければなりません。個人的に親しくしなさいというのではなく、よき友になることです。

ここに出席していらっしゃる姉妹たちは最良の友を持っておられると思いますので、私が言わんとしていることを理解して下さいと思います。最良の友とは、自分の秘密を打ち明けても大丈夫な人です。友に起こったすべてのことに関心を示す人であり、助けの必要な時にいつも助けを与える人です。

私は、最良の友を訪ねて顔を見るだけで、心の暖まる思いがします。彼女がドアを開けて中に入りなさいと言うまで待つのがもどかしく感じられるものです。彼女に会えたことを喜び、お互いに愛を深め合うのです。

訪問教師は、自分が訪問する先の姉妹たちに私のような気持を起こさせる必要があります。月の終りになってあわてて訪問先に駆けこみ、次のように言う訪問教師であってはいけないのです。「時間がなくてね。あなたならメッセージは読んでいるでしょうし、私よりもよく知ってらっしゃるでしょう。それに、メッセージはあなたにとってそれほど必要じゃないみたいだわ。その後どうですか。じゃ、また扶助協会でお会いしましょうね。」訪問した姉妹とその家族を祝福するような愛を残してこなければいけないのです。そして、特に親しくして立ち入るのではなく、よき友にならなければいけません。

数年前のこと、扶助協会が終って教会から帰ろうとしていると、訪問教師が私を呼び止めて言いました。「アリス、あなたはすべて足りているようだけれど、何か私にできることはないかしら。」

「いいえ、あなたは毎月私のためにいろいろなことをしてくれているじゃないの。愛あるメッセージを持ってきてくれるでしょ。あなたが私と家族に関心を示してくれるおかげで

# わたしの荷は軽い」

とてもなぐさめられて励みになっているのよ。」私がそう答えても、彼女はまだ不満そうでした。

2時間後、彼女は焼き立ての手作りのパンを持ってやってきました。「今日あなたと別れてから、あなたがいろいろと責任が大きくて忙しいため、パンを焼く暇もないと言っていたのを思い出したの。それで、あなたに特別にしてあげることができたわけなの。」

5年前、我が家が3年間の長い外国生活から帰国したばかりの時のことを思い出します。疲れていて、まだマーケットに行く時間ありませんでした。家に着いて20分もした頃、だれかがドアをたたくので行ってみると、あの同じ訪問教師が立っていたのです。（今はもう解任されて久しくなります。）手には焼き立てのパンといちごジャムのびんを持っていました。そして彼女の言うには、天火からパンをちょうど取り出そうとしている時、私たちの車が通るのを見かけたというのです。私は、「愛はとこしえに絶ゆることなし」をモットーとした扶助協会のマークが大好きです。ところが、私だけに通じる家庭訪問のマークは、いつも焼き立ての手作りのパンなのです。

私たちは「あらゆるものの貧困を救う」ことになっています。今日の混乱した複雑な世の中にも、イエスが御覧になった当時同様、孤独、絶望感、罪、悲しみ、苦しみが続かないのです。私たちの友人の家庭もいつこれらに襲われるか、わからないのです。

あわれみは人生にとって大切なものです。若くてチャーミングなダーリーンには赤ちゃんがいました。彼女は多発性脳脊髄硬化症という病気にかかっていた。病状がだいたい進んでいるため、子供の世話もできないほどで、2人の心の優しい訪問教師が彼女を訪れたのは、ちょうどそんな時でした。予言者ジョセフ・スミスは、「苦しんでいる者の傷に油とぶどう酒を注げ」と言っています。（教会歴史記録第4巻 英文 P.567 参照）2人の訪問教師はずっと召しを果たし続け、助けを与えました。

最初は熱心だった友人たちも、日が経つにつれてだんだんと足が遠のいて行きました。彼女は夫にさえ見捨てられ、悲嘆のどん底に落ちてしまいました。助けようとしても彼女の口から出るものは、とげとげしい怒りの言葉でしかありませんでした。他の人が、好きなように旅行や仕事をしたり遊んだりしているというのに、どうして彼女は助けもなしに寝ていなければならないのでしょうか。どうして身も心も衰弱するままに放っておかれなければならないのでしょうか。彼女は運命をのろいました。同時に友人もピタリと来なくなりました。

訪問教師のうち1人は遠のいてしまいました。もう1人は解任されましたが、変わらぬ愛と関心を示しました。何年間も訪問しては世話をし続けました。ダーリーンから敵意のある言葉を投げかけられても軽く受け流して、傷つき悩んでいる彼女を見捨てることはしませんでした。

最近ダーリーンの家族はユタへ越して来ました。彼女はまだ40前ですが、寝たきりの生活で、やはり一緒に越して来ました。昔の訪問教師の愛と関心はもう絶えてしまったのでしょうか。いいえ、ユタに長距離電話をかけて、今度の訪問教師に、「どうぞダーリーンの所へ行って見て下さい。彼女のことをいつまでも忘れないと伝えておいて下さい。できる限り彼女を訪問して下さいね。」と頼んだのです。

あわれみは人生にとって大切なものです。訪問教師が愛あるよき友であるなら、どんなに遠く離れても愛と関心は絶えることはありません。訪問教師のメッセージは大切です。訪問教師を管理するきまりも大切ですが、さらに大切なことは理解と関心と愛ある心です。

訪問教師にはそれだけで充分なのです。ダーリーンのような例はほとんどないでしょうが、毎月訪問する先で愛を必要とし、受け入れて欲しいと思っている人に出会うことでしょう。孤独はいろいろな面から私たちを苦しめます。しかも私たちにはどこにころがっているかわからないのです。しかしそこいらじゅうにあるのです。

毎年教会は発展し、それにつれて訪問教師も多く必要とされています。訪問教師の将来はどうなるのでしょうか。世をむしばみ、大都会を非人間的な場所とする孤独との闘いに大きな働きをなすことでしょう。訪問教師は初めての人、未亡人、孤児、傷ついた人、悩める人の世話を続け、すべての姉妹を愛と関心をもって見守ることでしょう。開拓時代に祖母たちは、真夜中、嵐の中を、何キロも馬車を走らせて助けを求める人々のもとへ行ったものでした。私たちもそのように求められることでしょう。母たちが不景気の時に見た飢えのあり様を見ることもあるでしょう。私の訪問教師のように、心のこもった暖かい焼き立てのパンを持ってきてくれるかもしれません。肉体的、情緒的、精神的な苦痛から人々を救い、また罪人を助けて悲しみをなぐさめることでしょう。毎月、世界中の姉妹のもとへ、愛ある福音のメッセージを携えて行くのです。訪問教師は、暖かい思いやりで人々を包む時に、その国の標準になることでしょう。

「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。わたしは柔和で心のべりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」（マタイ 11:28-30）

神は訪問教師を祝福していらっしゃいます。なぜなら、私たちが共に働く時、くびきは負いやすく、荷は軽くなるからです。

これにより、互いに愛し合うならば、私たちはすべて主の弟子であるということを知るのである。常に主の弟子であることを、私たちの愛する救い主、イエス・キリストの御名によりお祈りします。

アーメン。



ジョアン B. ドキシー\*

「**キ**ン・コン」暖かいアリゾナでの夕方、ベルが鳴るとそれまで騒いでいた子供たちは、一せいに玄関にとんで行きました。一番上のデビッドが最初にドアの取っ手をつかんで、思い切りドアを開けました。急いで置いて行ったらしく、クッキーの入ったお皿が玄関の上り口でまだ揺れているのを見て、子供たちは大喜びです。びっくりしたのと、喜んだのとで、子供たちは大騒ぎでした。それから、クッキーについていた紙を大きな声で読み始めました。

今晚の家庭の夕べで、

このクッキーがお役に立ちますように。

大好きなお友達とこのクッキーを分け合いたいと思います。

でも、私たちがだれだかわからないと思います。

まぼろしの家族より

私たちの驚きが治まる頃には、もちろんまぼろしの家族はすっかり消えた後で、一体だれなのか、どんな車に乗ってどこへ去ったのか、全然手がかりはありませんでした。思いがけないお菓子があったり、とりわけだれかの暖かい思いやりの心を受けて、その晩の家庭の夕べは言うまでもなく特別なものでした。それでも、4人の小さな息子たちは、一体だれなのかその後もずっと気にしていました。

#### 知られざる愛の行為

翌日のプライマリーからその週ずっと、子供たちはいろいろと調べてまわりました。友達に尋ねたり、近所の人から手がかりを集めたりして確証を得てきました。次の日曜日、断食集会の時に、だれかがパイを玄関のところに置いて行ったと話している家族がいました。その家族は、遠い所からお客様を夕食に迎えた時のように、驚き喜んだことでしょう。やがて、ワード部の会員たちは贈り物についていた手紙の文面を比べたり、いろいろと取りざたするようになりました。

それ以来、多くの家庭はいろいろな理由をつけて、ごちそうを用意しては匿名で配り始めました。ごちそうについてくる手紙は次のように変わっていました。「私たちはあなたの家族が大好きです。あなたの家族が同じワード部にいることをうれしく思います。」「主の御業のためにいつも働いて下さいますことを感謝しています。」話やレッスンでもこの行為を勧めるようになりました。また、だれかが良い模範を続けていることを認めてというそれだけの理由で、ごちそうが置いて行かれました。多くの人々が互いに受け取ったり、与えたりしては不思議がっていました。（ワード部の区域が広いため）会員の家庭を行き来する時は主に車を使うことから車が重要な手がかりとなってきました。子供たちは、教会に

駐車している多くの車の種類、型、色、車体番号を暗記したり、メモしていました。この方法によると、たとえ去って行く車のフェンダーしか見えなくても、どの車かが簡単にわかるのです。その反対に、自分がごちそうを置いて急いで立ち去る時には、首尾よく計画を実行しなければならないのです。しかし、それに伴うスリルとサスペンスと喜びは、テレビのスパイ番組よりもはるかにわくわくするものでした。秘密の行為を実行しようとする時に、同じ目的を持った他の家族に道で会ったりするとさらに楽しみがふえました。

分け合うほど余裕のない家庭に与える人々もありました。こうして、最初の思いやりある行為は、次第に犠牲の祝福というすばらしい考えのもとに行なわれるようになりました。友達同志互いに愛と理解を深め合ったすばらしい当時のことをふり返ると、どんなに子供たちに良い影響を与えたか測り知れません。子供たちは、実際的なすばらしい勉強をしたのです。それは実際的で生き生きとしていたからこそ意味があったのです。

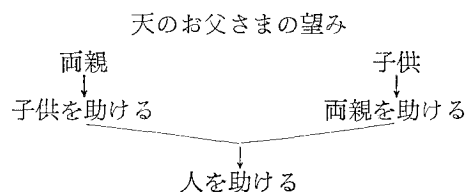
#### 幼ない子が小さな責任を果たす

最初に「まぼろしの家族」が現われてから4、5年経った今も、その話が出るたびに子供たちは顔を輝かせいつまでも話しています。この経験を分かち合った大人たちは、次の新しい活動子供たちにさせたいと思っています。大人にも子供にも、すべての人にとって楽しいことです。そして、それをなしとげようと努力する時にいつでも喜びという報いが伴うのです。

学校前の小さな子供でも、小さな責任を果たすことによって満足が得られます。子供たちは、本を片づけたり、テーブルをふいたり、皿を運んだりします。これらのことを通して、家族の中で互いの役割を知るようになります。また3、4才児に大きい子供のする新聞や牛乳配達を手伝わせて下さい。きっと喜んですることでしょう。お兄さんと手をつないで配達すると、驚くほど早く走れるものです。

#### 愛の福音の働き

天父は私たちの助けを必要としていらっしゃいます。両親が子供たちに大切な思いを植えつけ、それによって子供たちが福音を理解し実践することを望んでいらっしゃいます。また、子供たちが家族の活動に参加することによって、両親を助けるように望んでおられます。両親も子供も人を助け、そしてすべての人が愛の福音の働きを知って欲しいと思っています。子供にこの話をする時、次のように簡単な図式を使うと便利です。



「人類が現世に在るのは幸福を得んためである。」(Ⅱ ニューフェイス 2:25)

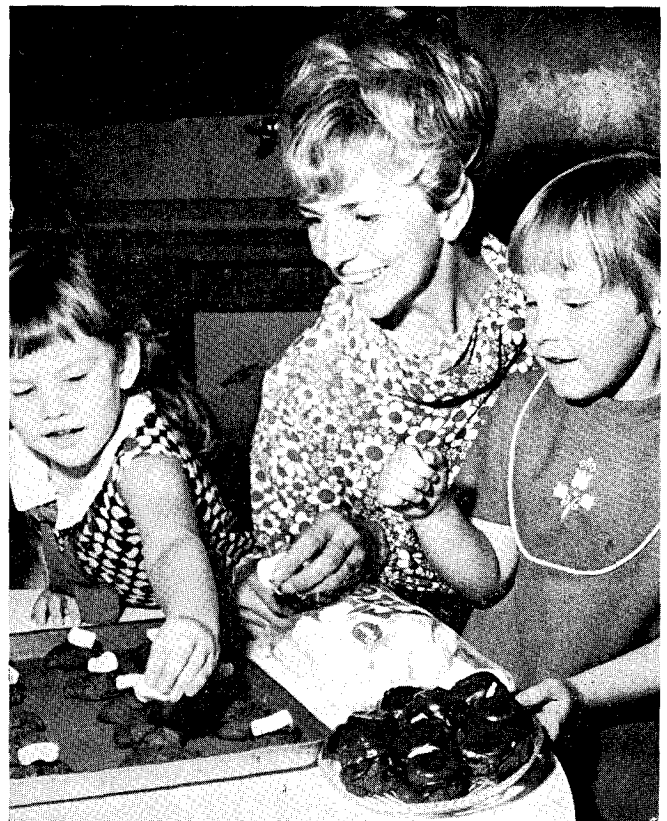
「わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。」(マタイ 25:40)

これらの聖句は、そこに描かれた福音の真理を実生活において経験しない限り、子供には理解しにくいものです。

もし最初の「まぼろしの家族」を見つけたら、すばらしい教訓を教えてくれたことを感謝したいものです。

\*8人の子供の母であるジョアン・ブッシュマン・ドキシ姉妹は、現在ステーク部プライマリーの指導者として働きながら、ブリガム・ヤング大学の修士課程に学んでいる。1954年ユタ大学を卒業以来、子供の歌や童話を多く手がけ、教会のみならず社会的にも幅広い活躍をしてきた。家族はモニュメント・パーク・ウェスト(ユタ)ステーク部、モニュメント・パーク・第8ワード部に所属している。

シンディ・ドキシ(4才)とクリスティ(2才)は、クッキーを焼き、そっと人の家に置いてくる手伝いを通して、分かち合うことを学びます。





# 日本西部伝道部だより

## 沖 縄 地 方 部 大 会

新しく日本西部伝道部になり、日本中央から次第に遠ざけられて行くのをさびしく思っていました。

ところが間もなくそのような気持ちは人間としての単なる思い過ごしにしかすぎない事が明らかになってきました。

3月15日付けで新伝道部長に渡辺驩兄弟が召されたとの知らせを受け、これまでのさびしさが一変して喜びとなりました。たちまち会員達は喜びが胸に満ち、天父なる神様への感謝の気持が大きくなりました。どの兄弟姉妹も早く伝道部長さんにあいたいと心まちに待っていました。

大会までに幾度となく「渡辺伝道部長さんはいついらっしゃいますか」という問が、あちらこちらからきかれる程でした。伝道部長を待ちのぞむ気持ちは神様にも通じて、6月の27日、28日の大会は一堂に集った1人1人の会員達が靈感され、信仰深い伝道部長の霊的なメッセージに感銘致しました。



普天間支部のメンバー

### 会 見 記 山下姉妹—ジョンソン長老

J.E. こんにちは山下姉妹、今日は何について話して下さいますか？

Ys. こんにちは、今日は、プライマリーについて少しだけお話ししたいと思います。

J.E. プライマリー？ プライマリーとは何ですか？

Ys. 普通、それは、初等協会と呼ばれている子供達のためのプログラムです。

J.E. プライマリーは福岡支部でいつから始まりましたか？

Ys. 今年の6月の第1土曜日からです。つまり1970年の6月6日に私たちの支部で、第1回目のプライマリーが始まりました。

J.E. それは記念すべき日ですね。世界的には、何時からプライマリーがプログラムされましたか？

Ys. 1878年の8月です。

J.E. プライマリーの大きな目的は何だと思いですか？

Ys. そうですね、大きな意味ではこのプログラムは永遠的な意味をもっていますね。つまり子供たちが主のみ前に於いていつも直ぐ従順に育つためだと思います。

J.E. プライマリーの役員について少し説明して頂けますか？

Ys. 会長は私、第1副会長が高木姉妹、第2副会長がファーフル姉妹、それから書記が森姉妹です。皆さんは子供達についての豊富な経験を一人一人がもっています又、会長会の素晴らしい助け手として渡辺姉妹には本当に感謝しています。

J.E. また、その最初のプライマリーには、どんなことを会で教えましたか？



靈感あふるメッセージをのべる伝道部長

た。うえ、かわいていた兄弟姉妹達に霊の糧を豊かに得させて下さいました。

今や会員達の心は、はげしく燃えあがっています。これがやがては、日本西部伝道部の大きな発展につながるものと確信しています。



那覇支部のメンバー

Ys. まず、最初に教会の名前、ジョセフ・スミスについて、お祈りする事そしていつも敬虔な気持をもつ事、両親を敬う事等を教えました。

J.E. そして、それ以外には？

Ys. この日を記念するために、子供達みんなでみかんの木を植えました。その他にナス、キュリ、トマト、それからコスモス等ですね、もうこのコスモスは少し咲き始めているようです。

J.E. それは、とても素晴らしいことですね。この植物を植えるということは何か特別に素晴らしい意味があると思いますね。

Ys. それは色々な意味を子供達に教えてくれると思います。木が大きく育つと同じ様に自分自身もよく成長することが出来る様に又子供達なりに「育てる」ということのすばらしさをもわかってくれると思います。

J.E. 最後に、これからのプライマリーに対して、あなたはどのような期待をもっていますか？

Ys. あの…、まず、もっともっと沢山の子供達が集って欲しいと思います。そして、そうするうちに子供達の御両親方が教会についてもっともっとよく理解して頂けるようになったらよいと思っています。そして、子供達がこのプライマリーをとおして、巣立ち、立派な神権者へと成長してゆくことを望んでいます。

J.E. すばらしいことですね。多分この聖句が関係あると思いますが読んで頂けますか？

「この故に悔い改めて、幼な子の如く、我に来たるものは我ごとくこれを受け入るべし、かかるものはすでに神の王国に居るものと同じなればなり」ニューファイ第3書9章—22節。

# ABHTYCSL

ABHTYCSL……？ AB, HT, YC, SL……！ そうです。

After Baptism Lesson, Home Teaching, Youth Conference, Salt Lake Temple. 私たちは次への飛躍のための数々の主のプログラムが成功されようとしています。

**ABレッスン**、このバプテスマ後のレッスンはステーク部全ワード部に着々と浸透し成果を上げています。例を第二ワード部にとってみましょう。専任宣教師の家庭集会の後にバプテスマを受けた新会員に7月現在で男女6名のステーク部宣教師によってABレッスンが実行され、その後ホーム・ティーチャー達が引受けています。さてこのために5月のステーク部大会直後から次の事柄が準備されました。ひとつは、ステーク部宣教師の招しの準備でした。そして一方、6月第一週の日曜日の早朝から毎週、4回にわたり、ホームティーチャー達は、ステーク部宣教師が教える事柄から自分たちの受持のレッスン部分までを勉強しました。この準備完了と共に幾人かのホームティーチャーは割当家族の一部に新会員の人たちが加わりABレッスンを開始しました。そしてこのABレッスン——ホームティーチングの形態は徐々に効果を現わしてきていますが問題点がないわけでもありません。それは個人記録のデータ活動です。ホームティーチングのために必要な個人の記録を専任宣教師からステーク部宣教師に、ステーク部宣教師からホームティーチャーたちの手にスムーズに渡るようにしなければなりません。そのため、毎日曜日の早朝、7時45分から8時まで専任宣教師とステーク部宣教師、

伝道アドバイザーの三者で打合わせを行なっています。そして、毎週火曜日には神権指導者の手によりホームティーチングへ組み込み割当てが第3課までの結果をみてなされています。このように事務的にしっかりとものをする事によってのみABレッスンのプログラムは成功していきます。

さてこのABレッスンの好影響はどんなものでしょうか、まず、今までと違い、早期のうちに新しく会員になった方は教会の中にとけこむことが出来、集会の出席率が上がってきました。日曜学校でも、雰囲気の変化がみられます。29コースの新しい人々は学ぶ態度に意欲がみられるようになりました。神権についても自らその聖任を待ち望むようになり、これからアロン神権は大きく飛躍することでしょう。

**ホームティーチング**、本ページのバックになっているグラフをご覧ください。二年ほど前の1968年9月にはホームティーチャーの訪問家族は最高のワードで（当時支部）32家族全く一家族も訪問できない支部もありました。しかし、グラフの通り、浮き沈みはありますが着実にその数は上向きになり1970年7月には最低で30家族、最も多いワードは120家族以上でこのグラフではその線はこのページをはみでてしまいました。私たちはこう理解することも可能です。それはこのホームティーチングの数ののびはとりもなおさずイエスの愛が私たちの間にもだんだん強くしっかりと浸透してきた進歩の過程を見ることが出来ます。私たちはもっともっとお互いの愛を深め、イエスの真の愛をこの身に受けたいものだと思います。

**ユースコンファレンス**、は若人の祭典、創造性を養い、協調することを学び、自らの力を試す機会です。若さと知恵の大会、大きな力強い証詞を得たいものです。

**ソルトレーク訪問**、神殿と総大会への出席。私たちはこのような大きな団体では二度とソルトレークへは行けないでしょう。340名の日本のモルモンがその信仰の力によってあらゆる困難を克服して行く姿は次への飛躍への姿でもあります。

# 日本伝道部だより

## 東京第二ワード部の バプテスマ

東京第二ワード部において、数多くの求道者がすべてのレッスンを終え、またバプテスマの面接さえ終っている人たちがあったが、教会に入る決心をためらっていた。そしてすばらしく見えた人たちも次第に離れていった。

なぜか？宣教師のせいだったのか？会員あるいは単に環境のせいであったのか？その原因を確かめようとして、ビルス伝道部長は6月19日の朝、その地区の8名の宣教師と会った。伝道部長は宣教師にお互いの欠点やささいな癖を許し合うように、そして100パーセントの宣教師となる努力をし、宣教師がまちがっているという可能性を取り除くことによって、伝道部のプログラムを心から支持するようにとチャレンジを与えた。

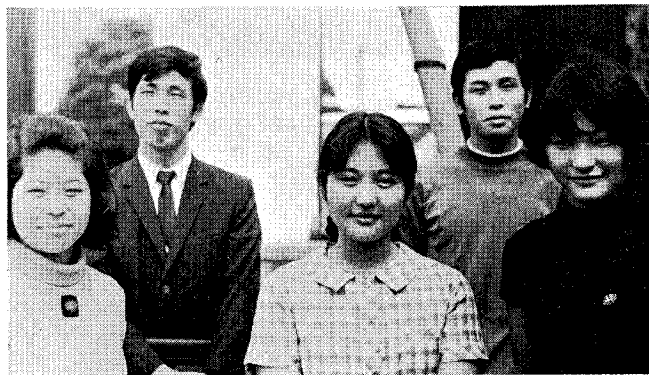
宣教師はそのチャレンジを受け、伝道部長がレッスンの進んだ求道者のすべてを伝道本部に招待してバプテスマを受けるようすすめるという、予め抱いていた考えを紹介した時に非常に熱意を示したのである。宣教師の言葉によって証の火をともしられた人々はさらに大きな証を得て、バプテスマを受けたいと望むようになるであろう。

その会は6月22日に開かれ、9名の求道者が出席した。そのうちの1人は第1課、もう1人は第2課の家庭集会しか受けていなかったのである。従ってその夜、近くバプテスマを受けるようすすめられた求道者は実際7名であった。

菊地第一副ステーク部長が最初に話をした。彼は自分の改宗談と強い証を述べ、また多くの若い人達が人生の目的を知らないことについて語った。彼は集まった人々に、救い主の教えを受け入れて従うならば、人生の真の目的を知ることができるかと約束した。

ビルス伝道部長は、はじめに次の点を強調した。日本に来ている宣教師は一円たりとももらっていないので、お金のために来ているのではなく、福音が真実であることを知っている故に来たこと、そしてその福音を日本人に分ちあいたいこと、私達がみな兄弟姉妹であることを日本の人々に知ってほしいことなど。

ビルス部長は、彼の家族と主の家族とを比較することにより次のことを指摘した。彼の家族は主の家族と同様に散らばっていて、お互いに離れて生活しているけれども、子供達がどのような生活をしているかを彼は知ることができる。なぜなら、以前に子供たちが成



小林重次兄弟 石川澄美江姉妹 石川百合姉妹 崎崎正夫兄弟 田中ひろみ姉妹

長した時にどのようにふるまったかを彼は知っているからである。それと同じように、前世で私達はみな主と共にあって、主により育てられた。当然のこととして、天父はだれが天父の御許に帰るかを知っておられるのである。しかし、天父のいく人かの子供達が御許に帰らないなら、天父は非常に悲しまれるであろう。

ビルス部長はまた非常に強い証を述べて、求道者の人々に、福音が真実であると感じたらすぐにバプテスマを受けるようにと強くすすめた。すぐにバプテスマを受けることにより、彼らはサタンとその悪巧みに打ちかつことができるであろう。

最後にビルス姉妹が話をした。彼女は福音が彼女の生活の一部になっていることまた福音が自分を他の人達と違ったものにしてくれたことを感謝していると述べた。

この集会の効果はすぐに表われた。祈りを終ってすぐに、一人の若い女性が宣教師のところへ行って、バプテスマを受けたいと言った。

二人の若い女性はすでにバプテスマを受けたいと望んでいたが、両親の許可が得られないでいた。しかし、二人の信仰と祈りによって両親はバプテスマを許してくれた。二人の青年がバプテスマを受け、残りの二人も後にバプテスマを受け、その結果7名全員がバプテスマを受けることになったのである。

「羊は彼の声聞く。そして彼は自分の羊の名をよんで連れ出す」

これら7人の若い人々はすすめを受け入れて、天父の唯一真の教会、末日聖徒イエス・キリスト教会に入るバプテスマを受けた。

## 東京ワード部の バプテスマ



コンピューター、電話設備を中心に電子器具販売工事を大きく営んでいらっしゃる会社の社長さんが、6月にバプテスマをお受けになりました。

猪俣勝彦兄弟はこの3月商用でハワイに立寄り、ふとハワイ神殿を訪問し、モルモン経を知りました。一冊買おうとしましたが、わずか85セント（日本語版）だと知り、これはなにかのまちがいでないかと思ひ、その時は買いませんでした。東京に帰って一週間程したある日交通の激しい通りを車で走っていました。

その時、東京ワード部の入口に立っている2メートル以上の大き

モルモン経の看板を見つけました。これはハワイ神殿で見たのと同じ本であるとわかり、運転手に車を止めさせました。モルモン経を買おうと中に入っていく、福音の紹介を受け、第一回レッスンの約束をし、約一時間後にできました。猪俣兄弟は最初から熱心な求道者でした。2カ月の勉強の後、6月6日バプテスマを受けました。

奥様と2人の十代の息子さんは、彼と一緒に、バプテスマを受けませんでした。家族の長として、最初にバプテスマを受けることによって導くのが自分の責任であると感じました。

猪俣兄弟はこうおっしゃっています。

「バプテスマはすばらしいことです。私の家族ができるだけ早くバプテスマを受けるよう希望しています」

# 日本中央伝道部だより

## <ハワイ神殿訪問団いよいよ8月1日出発>

1年前より計画されておりましたハワイ神殿訪問がいよいよ8月1日午後6時頃大阪国際空港よりパン・アメリカン航空チャーター機にて出発の運びとなりました。162名の総メンバーの中、沖縄より24名、韓国伝道部より12名、東京ステーキ部より22名、北海道より2名の兄弟姉妹の御参加を得、満席にて飛び立つことが出来ますので心より感謝致しております。

なお一行の滞在日数は10泊12日間で現地にてはたっぷりの日数がございますので、ステーキ部での色々な集会に出席して勉強する予定です。

## <伝道部で初のロードショウ大会開かる>

去る6月20日及び27日近畿四国、近畿中国両地方部に於いて伝道部初のロードショウ大会が開かれました。各支部とも予想外の大熱演で岡崎伝道部長ご夫妻の話によると、アメリカのステーキ部で行なわれるものと比較して決してひけおとらないそうです。特に岡町支部で行なわれたものは、すべてがオリジナルで作詩、作曲、ダンス並びに多数の楽器を使つての演出は見る者を全く魅了しました。来るMIAコンファレンスで再演されることを期待します。



<高槻支部のメンバー>



<岡町支部のメンバー>



<京都支部のメンバー>

## 日本中央伝道部年間スケジュール (1970~1971)

| 月日   | 曜日 | プログラム                             | 月日   | 曜日 | プログラム                | 月日  | 曜日 | プログラム                                   | 月日                    | 曜日 | プログラム                |
|------|----|-----------------------------------|------|----|----------------------|-----|----|-----------------------------------------|-----------------------|----|----------------------|
| 1970 |    |                                   |      |    |                      |     |    |                                         |                       |    |                      |
| 9.3  | 木  | MIAオープニングソーシャル                    | 28   | 土  | 地方部ダンスフェスティバル        | 25  | 木  | MIA支部演説祭                                | 6.6                   | 日  | 扶助協会クロージングソーシャル      |
| 5    | 土  | プライマリ・オープニングソーシャル                 | 29   | 日  |                      | 28  | 日  | 日曜学校復活祭特別プログラム                          | 13                    | 日  |                      |
| 6    | 日  | 日曜学校教師養成会開始                       | 12.6 | 日  | 日曜学校創立記念日            | 4.3 | 土  | Mission Birthday Conference             | 20                    | 日  | 父の日特別プログラム           |
| 7    | 月  | アロン神権セミナー開始                       | 13   | 月  |                      | 4.3 | 土  | Mission Birthday Conference             | 27                    | 日  |                      |
| 10   | 木  | MIAテーマ提出                          | 17   | 木  | MIAクリスマスパーティ         | 4.3 | 土  | Mission Birthday Conference             | 7.1                   | 木  | 支部MIAロードショー          |
| 13   | 日  | 日曜学校献金日                           | 20   | 日  | 日曜学校クリスマスプログラム       | 4   | 日  | Mission Birthday Conference             | 4                     | 日  | 近畿中国地方部大会            |
| 20   | 日  |                                   | 22   | 火  | 扶助協会クリスマスパーティ        | 4   | 日  | Mission Birthday Conference             | 10                    | 土  | 地方部大会ロードショー          |
| 27   | 日  | 扶助協会紹介(聖餐式)                       | 24   | 木  | MIAキャロリング            | 4   | 日  | Mission Birthday Conference             | 11                    | 日  | 同上                   |
| 29   | 火  | 扶助協会オープニングソーシャル                   | 27   | 日  |                      | 4   | 日  | Mission Birthday Conference             | 17                    | 土  | 近畿四国地方部大会(岡町)        |
| 30   | 水  | アロン神権業績証明書締切(1969-1970年度分)        | 1971 |    |                      | 4   | 日  | Mission Birthday Conference             | 18                    | 日  | 地方部大会ロードショー          |
| 10.3 | 土  | 近畿中国地方部大会(阿倍野)                    | 1.3  | 日  | 日曜学校新年プログラム          | 11  | 日  |                                         | 24                    | 土  | 中部地方部大会              |
| 4    | 日  | 同上                                | 10   | 日  | プライマリベネディクト開始(31日締切) | 18  | 日  |                                         | 25                    | 日  | 地方部大会ロードショー          |
| 10   | 土  | 近畿四国地方部大会(岡町)                     | 15   | 金  | アロン神権セミナー第2回開始       | 25  | 日  |                                         | 31                    | 土  | 同上                   |
| 11   | 日  | 同上                                | 16   | 土  | 近畿中国地方部大会            | 28  | 水  | アロン神権強化合宿(地方部調整)                        | 31                    | 土  | 同上                   |
| 17   | 土  | 中部地方部大会                           | 17   | 日  | 同上                   | 29  | 木  | 同上                                      | 8.1                   | 日  | 同上・ガールズプログラムサーベイ(支部) |
| 18   | 日  | 同上                                | 23   | 土  | 近畿四国地方部大会            | 30  | 金  | 地方部MIAスピーチ音楽祭                           | 8                     | 日  |                      |
| 22   | 木  | MIAコスチュームパーティ                     | 24   | 日  | 同上                   | 5.2 | 日  |                                         | 12                    | 木  | MIAコンファレンス(15日まで)    |
| 24   | 土  | 近畿四国地方部大会(松山)                     | 30   | 土  | 中部地方部大会              | 3   | 月  |                                         | 15                    | 日  |                      |
| 25   | 日  | 同上                                | 31   | 日  | 同上                   | 5   | 水  | プライマリ、子供日曜学校合同ピクニック                     | 22                    | 日  |                      |
| 27   | 火  | MIAフアンド締切                         | 2.7  | 日  |                      | 6   | 木  | ゴールド・アンド・グリーンボール(支部MIA)                 | 29                    | 日  | ガールズプログラム個人賞締切       |
| 28   | 水  | プライマリフアンド締切                       | 11   | 木  | 支部バレンタインダンスパーティ      | 9   | 日  | 日曜学校母の日特別プログラム                          | 30                    | 月  | 同上                   |
| 29   | 木  | 10月中の各地方部大会の土曜日の夕べに扶助協会フアンクションショー | 14   | 日  | 各支部にて系図祭             | 14  | 金  | アロン神権回復記念プログラム                          | 31                    | 火  | MIA Annual Report 締切 |
| 11.1 | 日  |                                   | 21   | 日  |                      | 15  | 土  |                                         | 扶助協会 Annual Report 締切 |    |                      |
| 3    | 火  |                                   | 28   | 日  |                      | 16  | 日  | 14日父と子の集い(たべよう会)15日スポーツの夕、16日神権会特別プログラム |                       |    |                      |
| 8    | 日  |                                   | 3.7  | 日  |                      | 23  | 日  | プライマリ聖餐会特別プログラム                         |                       |    |                      |
| 15   | 日  |                                   | 11   | 木  | MIA支部音楽祭             | 30  | 日  |                                         |                       |    |                      |
| 19   | 木  | 支部ダンスフェスティバル                      | 14   | 日  |                      |     |    |                                         |                       |    |                      |
| 22   | 日  |                                   | 16   | 火  | 扶助協会創立記念日            |     |    |                                         |                       |    |                      |
| 23   | 月  |                                   | 21   | 日  |                      |     |    |                                         |                       |    |                      |

# 知る人がふたりいる

リチャード L. エバンス

「私が学校へ行く時、父は私に『何を考え、何をしようとも、それを知る人がふたりいる。それはおまえと私たちの御父だ』と言いました」。ある息子がこう語った。とりたてて目新しい言葉ではない。だがそれは我々の持ついくつかの問題を解く答えである。世の人々に知られなくとも、家族や友に知られなくとも、知っている人がふたりある。そしてたとえ永遠の記録や生ける神や自分と神との関係を認めない人であっても、我々がよく承知しているように、人はみな自分自身に関することを自分でよく知っているのである。さて、何かの問題に関して、それは戒めを守らない人々の問題でもよい、また戒めに気づかない人々についてかもしれない。あるいは正直、徳、道徳心、時によってみがかれてきた標準や自制を忘れ去って、思うままにふるまう人、楽しいからという理由だけで物事を行なう人々の問題かもしれない。それらの問題に関して考えてみよう。彼らは望むままに生きて、なぜ幸福ではないのか。彼らはなぜいまだに内なる自己と争い、不安や不満、自己欺まん、呵責を感じるものであろうか。エルバート・ハバードはそのひとつの答えを述べた、「人は罪を罰せられるのではなく、罪によって罰せられる」。ある意味で、そのようなおきては自ら働くのである。人本来の性質により、人はそのあるがままの者でしかない。もしある道を行くなら、その結果が得られ、他の道を行くなら他の結果が得られる。人々はさまざまな教えや訓練を受けてきたが、光にそった生活であれ反した生活であれ、そこには根本的な何ものかが働いて、どのように生きるかにより、幸不幸、苦楽、自尊あるいは呵責、品性などが定まるのである。内なる自尊の心と平安を得るには、ただひとつの道しかない。神の勧めに反した生活によっては、それは決して得られないのである。はじめの言葉にかえろう。「何を考え、何をしようとも、それを知る人がふたりいる」。もしひとりだけしか知っていないとするならば、それはまったくあてにならぬ賭けであろう。

## 聖徒の道

1970年8月20日発行

振替口座 東京16226番

発行人兼編集人 ウォルターR. ビルス

発行所 東京都港区南麻布5-8-10

末日聖徒イエス・キリスト教会 電話(442)7459

印刷所 太陽印刷工業株式会社

定価 100円

予約 一年間1,000円(外国4ドル50セント)

電報受信略号 「トウキョウ」 マツジツ